

議題 1

景観重要建造物及び都市景観形成建築物等の指定について (関西学院)【諮問】

目 次

1. 景観重要建造物及び都市景観形成建築物等の指定について【P 1】
2. 指定図書、保全計画【資料 1 ～ 6】

議題1 景観重要建造物及び都市景観形成建築物等の指定について(関西学院)【諮問】

1 趣旨

景観法では、景観計画区域内の良好な景観形成に重要な建造物について、市が「景観重要建造物」として指定できる旨が規定されており、関西学院周辺の景観地区指定に合わせ、キャンパス景観及び甲山への眺望景観の構成要素となっている建築群のうちキャンパス開設当時から存在し、景観の核となっている時計台及び中央広場、並びに正門から中央広場へ至るエントランス空間を印象付けるランバス記念礼拝堂について、景観重要建造物指定を行う。

また、西宮市都市景観条例第18条において、市が都市景観の形成を図るうえで重要な価値があると認める建築物又は工作物については「都市景観形成建築物等」として指定することができる旨が規定されており、上記景観重要建造物指定と同様に、キャンパス開設当時から建築物等7件について、都市景観形成建築物等の指定を行う。

これらの指定にあたって、景観重要建造物については条例第24条において、都市景観形成建築物等については条例第18条において、審議会の意見を聴くことと規定されていることから、今回諮問するものである。

2 指定制度について

(1) 景観重要建造物の指定制度の目的

地域の景観上重要な建築物及び工作物を指定し、地域の個性ある景観づくりの核として維持、保全及び継承を図る。

(2) 景観重要建造物の指定の要件

西宮市景観計画に定められた「景観重要建造物の指定の方針」に即し、景観法施行規則第6条(国土交通省令)の規定に該当するものを指定している。

① 西宮市景観計画「景観重要建造物の指定の方針」

- ・都市景観形成建築物または都市景観形成工作物のうち、周辺地域の景観の形成に特に寄与していると認められ、所有者の同意が得られたものを景観重要建造物に指定する。

② 景観法施行規則第6条

- ・地域の自然、歴史、文化等からみて、建造物(これと一体となって良好な景観を形成している土地その他の物件を含む)の外観が景観上の特徴を有し、景観計画区域内の良好な景観の形成に重要なものであること。

- ・次のいずれかに該当するものであること。
- イ 道路その他の公共の場所から公衆によって容易に望見されるものであること。
- ロ 政府が世界遺産委員会（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約第8条1の世界遺産委員会をいう。）に対し同条約第11条2の世界遺産一覧表に記載することを推薦したものであって、当該推薦の際に世界遺産委員会に提出された管理計画（変更があったときは、その変更後のもの）に従って公衆によって望見されるものであること。

(3) 景観重要建造物の指定の効果

次の規定等により、指定建造物を積極的に保全する。

- ・現状変更を行う際には市長の許可が必要。（法第22条）
- ・未許可又は許可条件に反した場合、市長は原状回復の命令が可能（法第23条）
- ・所有者等には適切な管理義務が発生。市は保全に必要な管理方法の基準を定めることができる。（法第25条）
- ・市長による不適切な管理に関する是正命令勧告が可能（法第26条）

(4) 都市景観形成建築物等の指定制度の目的

都市景観の形成上、重要な価値があると認める建築物又は工作物を保全し、地域の景観形成の核とする。

(5) 都市景観形成建築物等の指定の要件

西宮市都市景観条例第18条（抜粋）

- ・都市景観の形成を図るうえで重要な価値があると認められ、次の各号のいずれかに該当する建築物または工作物
 - 1) 地区の都市景観を特徴づけている建築物または工作物
 - 2) 歴史的価値または建築的価値のある建築物または工作物
 - 3) 市民に親しまれている建築物または工作物

(6) 都市景観形成建築物等の指定の効果

次の規定等により、指定建築物等の保全を誘導する。

- ・市長が保全計画を定め、所有者はそれに適合する管理が必要（条例第20条）
- ・現状変更を行う際には市長に届出が必要。届出内容が保全計画に適合しない場合、市長は助言・指導が可能（条例第22条）

(7) 景観重要建造物と都市景観形成建築物等の比較表

景観重要建造物	〈目的〉地域の景観上重要な建築物及び工作物を指定し、地域の個性のある景観づくりの核として維持、保全及び継承を図る。		
	〈建築物〉時計台及び中央広場、ランバス記念礼拝堂		
	許可申請 (違反した場合は原状回復命令を行う。)		管理基準
	要	不要	
	<ul style="list-style-type: none"> ・増築、改築、移転 ・除却 ・外観の変更 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕、模様替え ・色彩の変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の管理行為 ・軽易な行為 ・政令で定めるもの <ul style="list-style-type: none"> ・法令等に基づく行為 ・応急措置 	良好な景観が損なわれないよう適切に管理しなければならない。

景観地区内 都市景観形成建築物・工作物 (景観重要建造物を除く)	〈目的〉都市景観の形成上、重要な価値があると認める建築物又は工作物を保全し、地域の景観形成の核とする。		
	〈建築物〉学院本部棟、経済学部棟、文学部棟、神学部棟、高中部本部棟 〈工作物〉大学正門、旧大学本館門柱		
	届出申請 (支障がある場合は助言指導を行う。)		管理基準
	要	不要	
	<ul style="list-style-type: none"> ・現状変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の管理行為 ・軽易な行為 ・政令で定めるもの <ul style="list-style-type: none"> ・法令等に基づく行為 	保全計画に適合した管理を行わなければならない。
	景観地区認定申請 (違反した場合は是正命令)		認定基準
	要	不要	
<ul style="list-style-type: none"> ・増築、改築、移転 ・外観の変更 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕、模様替え ・色彩の変更 	(今後検討)	景観地区の形態意匠等の制限に適合していなければならない。	

3 これまでの経緯

- 平成 28 年 11 月 審議会 (指定建築物等の整理・検討)
 - ※建築物以外の景観資源の保全を検討するよう意見を受ける
 - 関西学院との協議開始
- 平成 29 年 3 月 審議会 (指定建築物等(案)の変更及び指定制度の報告)
- 平成 30 年 2 月 関西学院と指定建築物等について合意

- 平成30年 3月 審議会（指定建築物等(案)及び内容・手続き(案)の報告）
平成31年 2月 審議会（景観重要建造物の指定範囲(案)の報告）
令和元年 5月 関西学院との協議終了
令和元年 5月 審議会（景観重要建造物及び都市景観形成建築物等の指定図書・
保全計画(案)の報告）
令和元年 7月 関西学院よりの指定同意書收受

4 今回指定対象建築物等について

(1) 景観重要建造物について

- ①時計台（大学博物館、学院史編纂室）・中央広場
【指定図書・保全計画：資料1参照】
②ランバス記念礼拝堂【指定図書・保全計画：資料2参照】

(2) 都市景観形成建築物等について

- ①学院本部棟・経済学部棟・文学部棟・神学部棟
【指定図書・保全計画：資料3参照】
②高中部本部棟【指定図書・保全計画：資料4参照】
③大学正門【指定図書・保全計画：資料5参照】
④旧大学本館門柱【指定図書・保全計画：資料6参照】

5 今後のスケジュール

- 令和元年 7月 景観・屋外広告物審議会（現地視察及び諮問）
8～9月 指定、告示
10月 標識設置

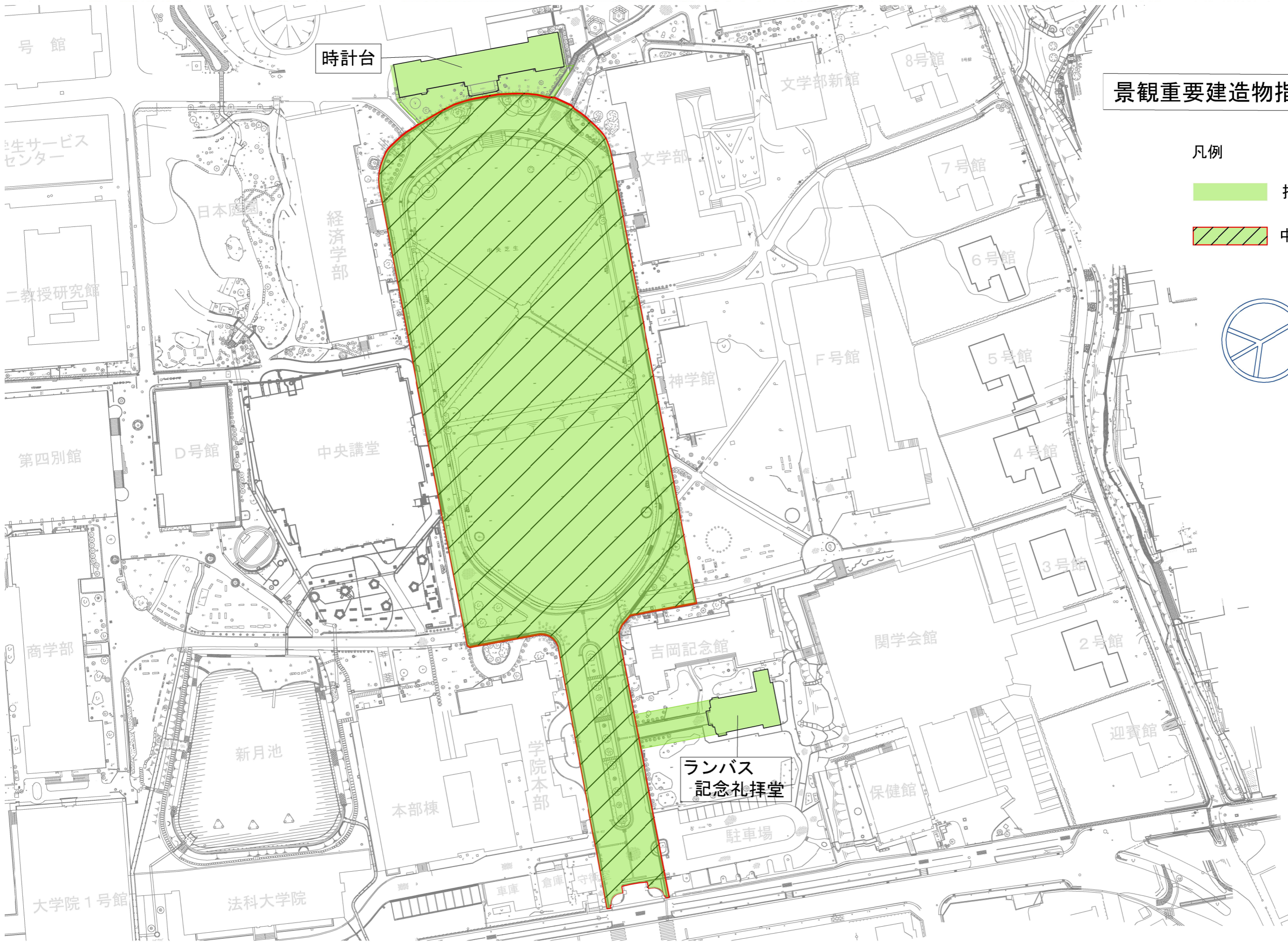
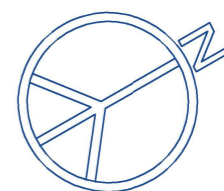
西宮市景観 重要建造物 指定	関西学院大学：時計台（大学博物館、学院史編纂室）・中央広場
所在地	西宮市上ヶ原一番町二番地 10 他
敷地・指定 建築物等の 概要	<p>●敷地の概要</p> <p>*規 模 : 約 134,392.21 m² (北敷地)</p> <p>*配 置 : 甲山に軸線を取った中央広場を中心に建築群がこれを囲む特徴ある配置がなされている学院キャンパスのなかで、特に歴史的、景観的シンボルとなる建築物として位置づけられている。</p> <p>●指定建造物の概要</p> <p>*建 築 年 : 昭和 4 年(1929 年)</p> <p>*名 称 : 時計台・中央広場</p> <p>*構 造 : 鉄筋コンクリート造 地下 1 階 地上 2 階</p> <p>*建築面積 : 約 416 m²</p> <p>*延べ面積 : 約 832 m²</p> <p>*屋 根 : スパニッシュ瓦葺き (上丸、下丸の組合せ) 勾配屋根</p> <p>*外 壁 等 : スタック引き抜き仕上げの上塗装</p> <p>*開口部 (窓等) : アーチ窓又は縦長窓 (金属および木製, こげ茶色) (窓のプロポーションとその連なりによって独特のリズム感を生み出している)</p> <p>*その他装飾 : 立面図のとおり</p>
指定理由	<p>時計台は、昭和 4 年(1929 年)のキャンパス開設当初からの建築物で、W. M. ヴォーリズの設計によるスパニッシュ・ミッションスタイルで統一された中央広場を囲む学院キャンパス景観を構成する建築群のなかでも特に歴史的シンボルとなるものであるとともに、甲山へと続く眺望景観のランドマークとなっている。</p> <p>時計台を正面にした中央広場空間は、市民に開放された学院キャンパスのシンボルエリアであり、これを構成する建築群は、屋根、外壁の材料・色調を合わせ、周囲の樹木とともに、周辺環境と一体となった緑豊かで開放的なキャンパス景観を形成しているが、このなかでも本建築物はその中核をなすものである。</p> <p>キャンパス景観の核となっており、本市を代表する眺望景観を形成している時計台及び中央広場は、都市景観形成上特に重要なものと認められ、景観重要建造物に指定する。</p>

(参考) 国 登録文化財 平成 21 年 6 月 19 日

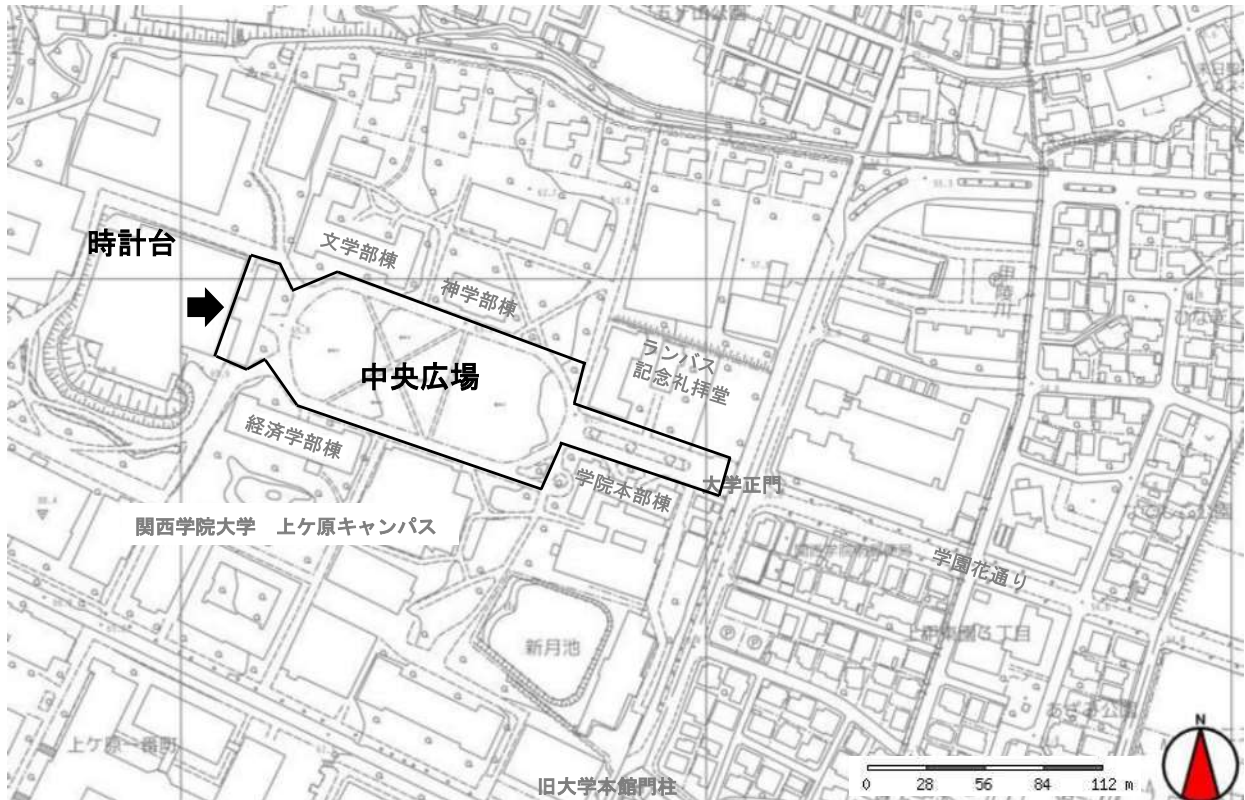
市 都市景観形成建築物 平成 2 年 11 月 1 日 (西宮市告示甲第 222 号)

景観重要建造物指定範囲

- 凡例
- 指定範囲
 - 中央広場空間



時計台(大学博物館、学院史編纂室)・中央広場



付近見取り図



正面写真(東側)



近景写真(東側)



遠景写真(東側)



遠景写真(東側)②



中央広場空間(広角)



中央広場空間(南東側)②



側面写真(北側)



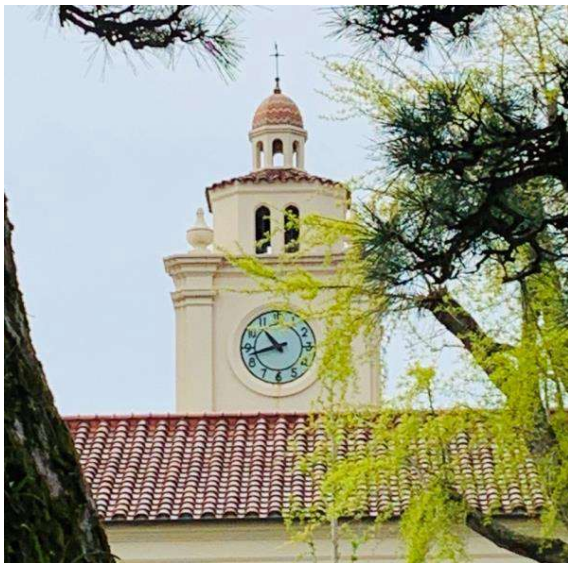
側面写真(南側)



側面写真(北西角)



側面写真(南東角)



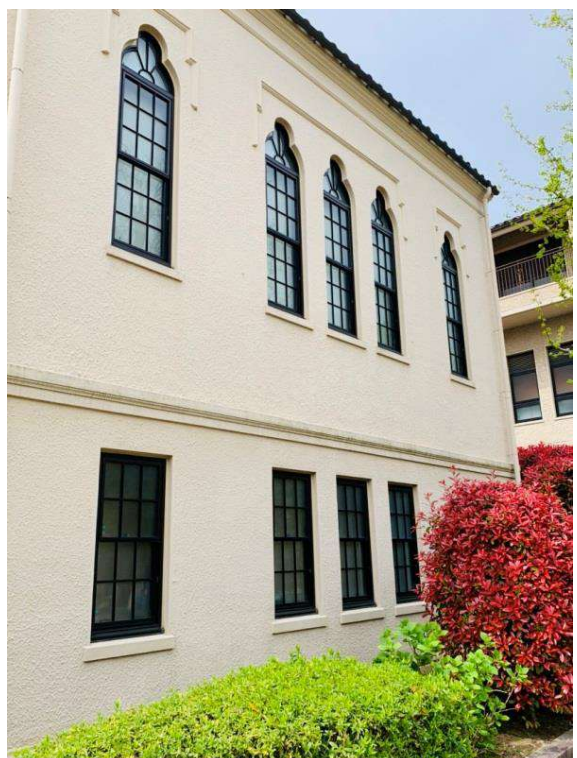
スパニッシュ瓦葺き



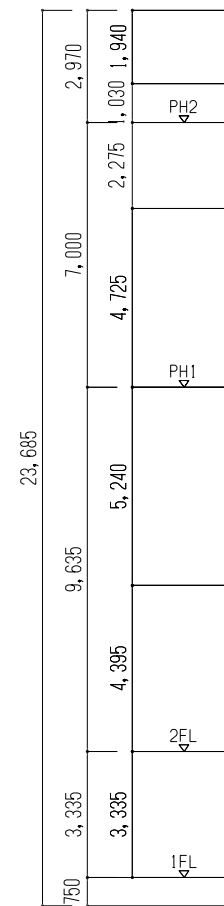
スタッコ引き抜き仕上げの上塗装



アーチ窓及び装飾



アーチ窓及び縦長窓



東 立面図

承認	/00.00.00
確認	/00.00.00
作成	/00.00.00

完成図	保管	承認
	確認	
	作成	

訂正		特記



西 立面図

承認	/00.00.00
確認	/00.00.00
作成	/00.00.00

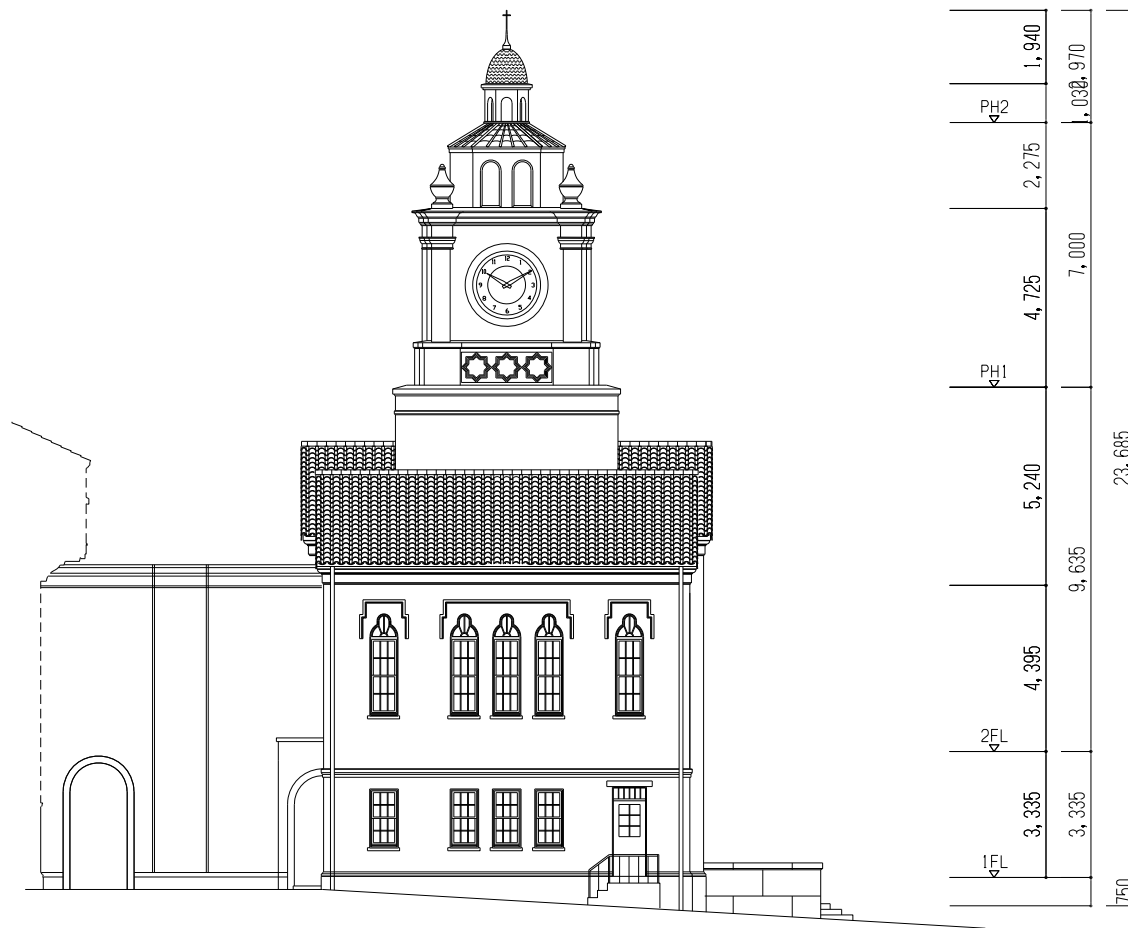
完成図	保管	承認
	確認	
	作成	

訂正		特記

西宮上ヶ原キャンパス

図面名称	時計台 立面図(2)
縮尺	1/200

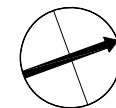
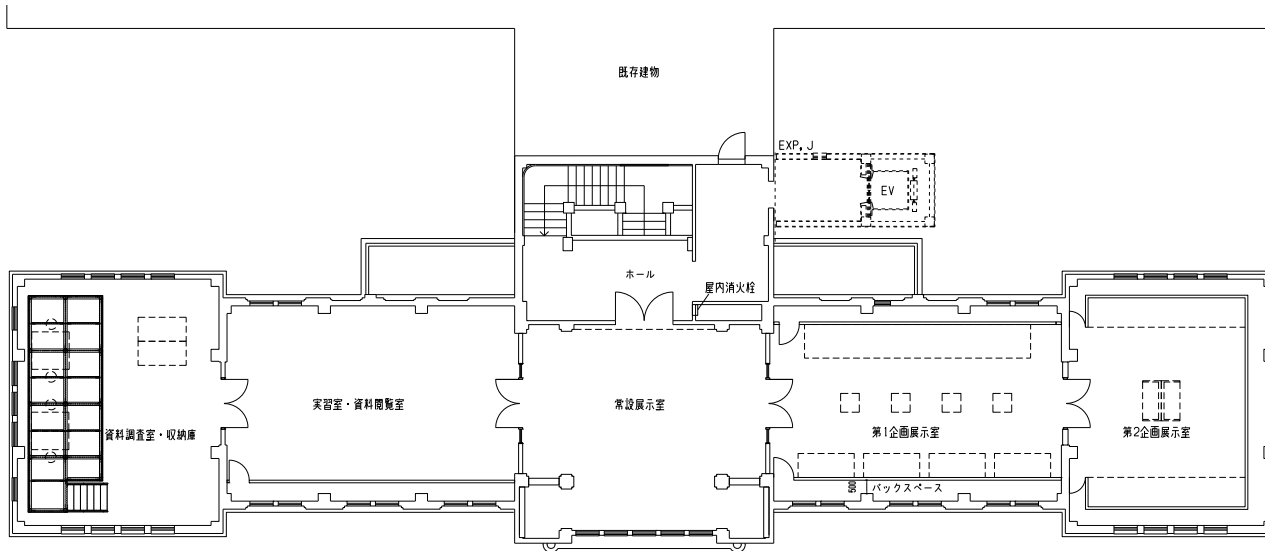
図面番号	7
校ノ内	
区分	建築図



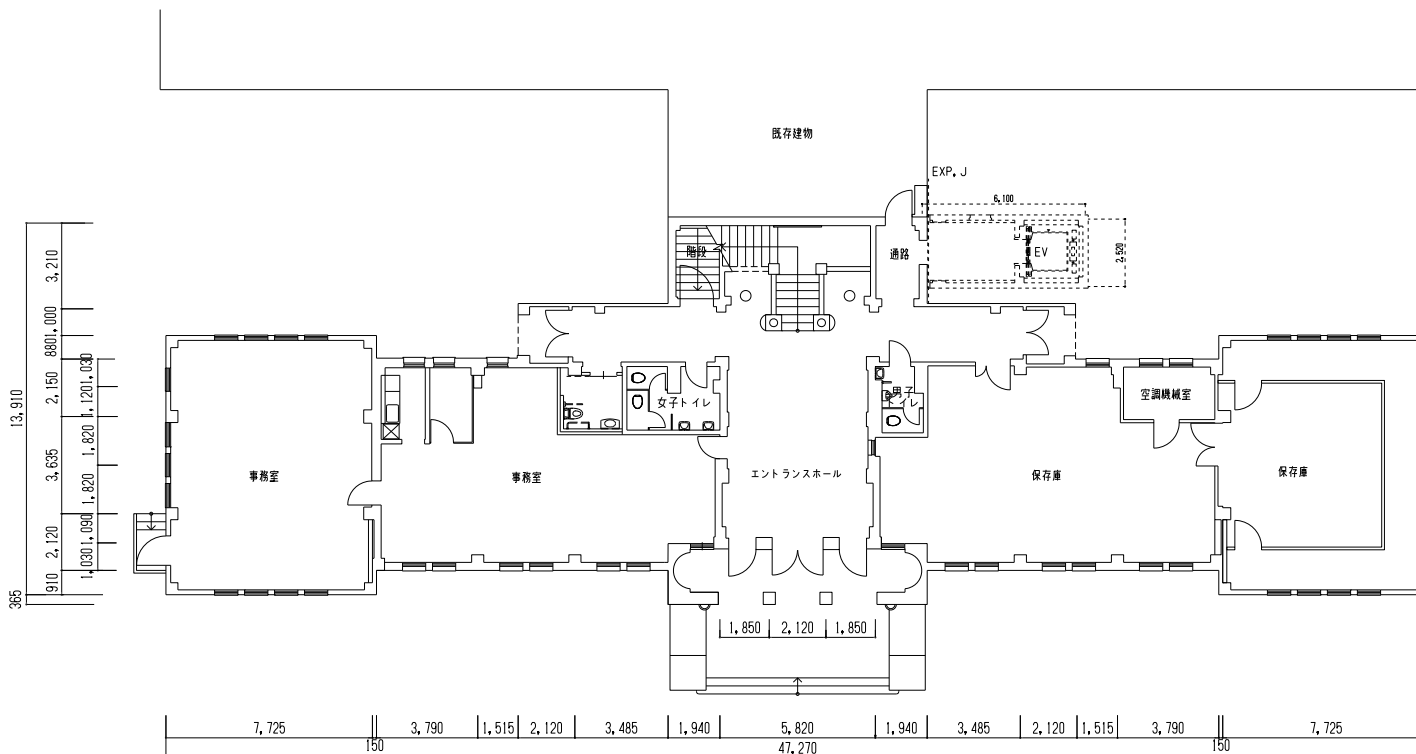
南 立面図



北 立面図



2階平面図



1階平面図

西宮市景観 重要建造物 保全計画	関西学院大学：時計台（大学博物館、学院史編纂室）・中央広場
(1) 保全方針	●スパニッシュ・ミッションスタイルにより建設された建築群の中で歴史的シンボルであり、甲山へと続く眺望景観のランドマークとなっている時計台及び中央芝生を中心に構成される中央広場空間の建築的、景観的特色を保全する。
(2) 指定建築物 の外観の意 匠・構造・材 料等に関す る事項	<p>●以下の歴史的意匠等を保全する。</p> <p>*名称：時計台・中央広場</p> <p>*構造：鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階</p> <p>*屋根：スパニッシュ瓦葺き（上丸、下丸の組合せ）勾配屋根</p> <p>*外壁等：スタッコ引き抜き仕上げの上塗装</p> <p>*開口部(窓等)：アーチ窓又は縦長窓（金属および木製、こげ茶色） （窓のプロポーションとその連なりによって独特のリズム感を生み出している）</p> <p>*その他装飾：立面図のとおり</p>
(3) 敷地の利用、 木竹等に関 する事項	<p>●時計台から中央広場空間に至る前庭空間に関する事項 本建造物の前庭部分の配置構成要素を現状のとおり保全する。</p> <p>●中央広場に関する事項 中央芝生、園路など空間の配置構成要素を現状のとおり保全することで、中央広場から甲山への眺望や山並み・空への開放性が高いシンメトリーの空間を継承する。</p> <p>●木竹等に関する事項 敷地内の植栽の保全に努める。</p>

西宮市景観 重要建造物 指定	関西学院大学：ランバス記念礼拝堂
所在地	西宮市上ヶ原一番町二番地 10 他
敷地・指定 建築物等の 概要	<p>●敷地の概要</p> <p>*規 模 : 約 134,392.21 m² (北敷地)</p> <p>*配 置 : キャンパス景観のシンボルエリアである中央広場空間から緑豊かな前庭空間を介して、学院キャンパスのエントランス空間の核として配置されている。</p> <p>●指定建造物の概要</p> <p>*建 築 年 : 昭和 34 年(1959 年)</p> <p>*名 称 : ランバス記念礼拝堂</p> <p>*構 造 : 鉄筋コンクリート造 地上 1 階</p> <p>*建築面積 : 約 187 m²</p> <p>*延べ面積 : 約 187 m²</p> <p>*屋 根 : スパニッシュ瓦葺き (上丸、下丸の組合せ) 勾配屋根</p> <p>*外 壁 等 : スタック引き抜き仕上げの上塗装</p> <p>*開口部 (窓等) : アーチ窓又は縦長窓 (金属および木製, こげ茶色) (窓のプロポーションとその連なりによって独特のリズム感を生み出している)</p> <p>*その他装飾 : 立面図のとおり</p>
指定理由	<p>ランバス記念礼拝堂は、学院創立 70 周年を記念して昭和 34 年(1959 年)にスパニッシュ・ミッションスタイルにより建設されたもので、周囲のキャンパス景観と調和しつつ、礼拝堂としての外観によって、正門から時計台に至るアプローチ際のアクセントとなり、また街に開いた学院キャンパスのエントランス空間を印象付ける建造物となっている。</p> <p>このキャンパス景観のエントランス空間の核となっているランバス記念礼拝堂は、都市景観形成上特に重要なものと認められ、景観重要建造物に指定する。</p>
(参考) 市	都市景観形成建築物 平成 2 年 11 月 1 日 (西宮市告示甲第 222 号)

ランバス記念礼拝堂



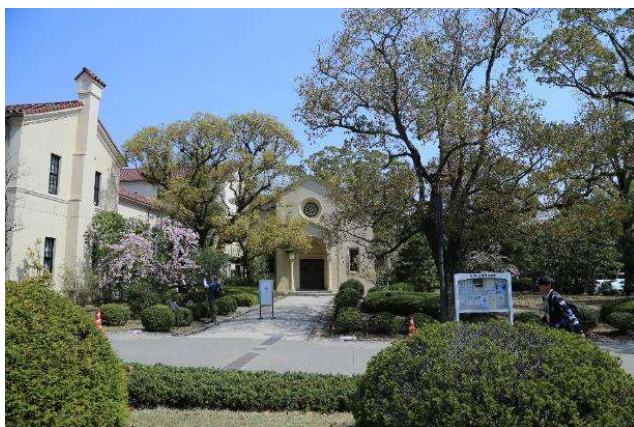
付近見取り図



正面写真(南側)



正面写真(南側)②



正面写真(南側)③



遠景写真(南東側)



建造物及び前庭



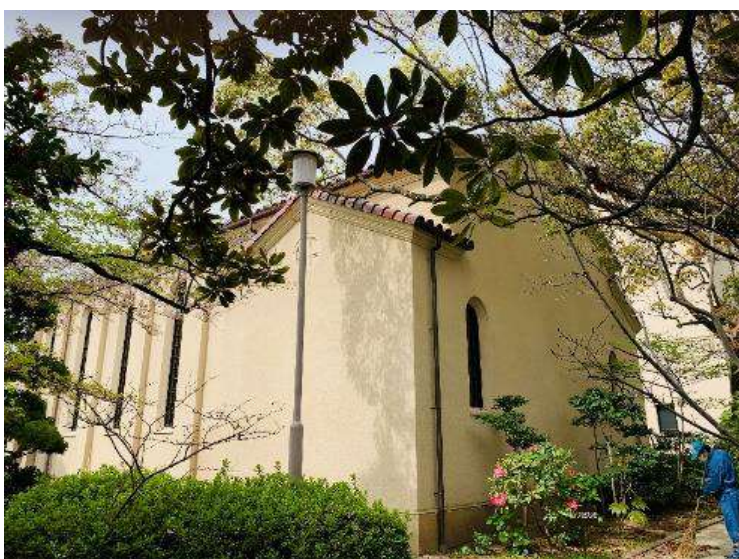
側面写真(西側)



背面写真(東面)



側面写真(北西角)



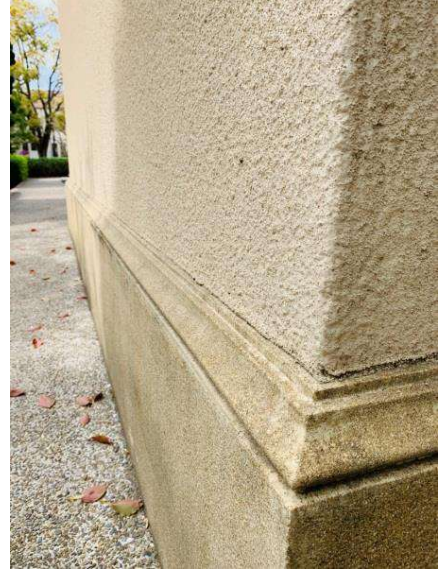
側面写真(北東角)



アーチ窓



スパニッシュ瓦葺き



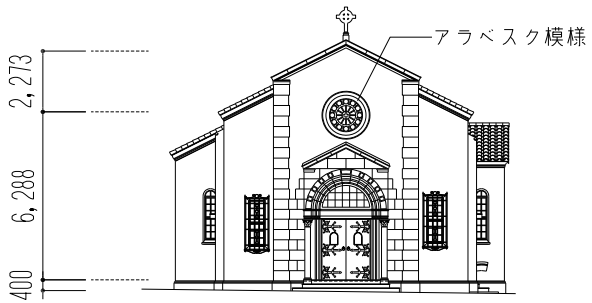
スタッコ引き抜き仕上げの上塗装



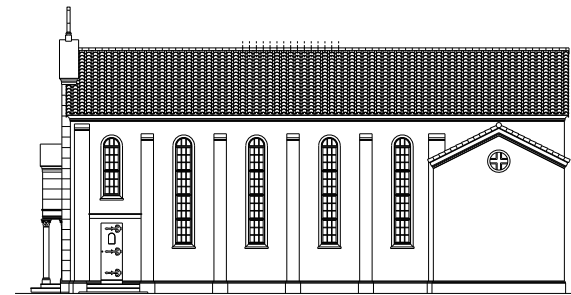
装飾



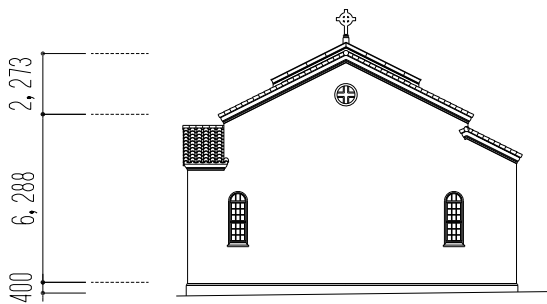
アラベスク模様など装飾



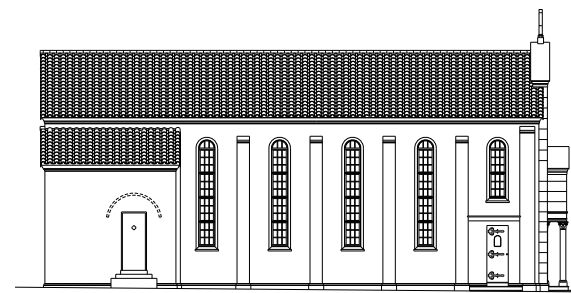
南立面図



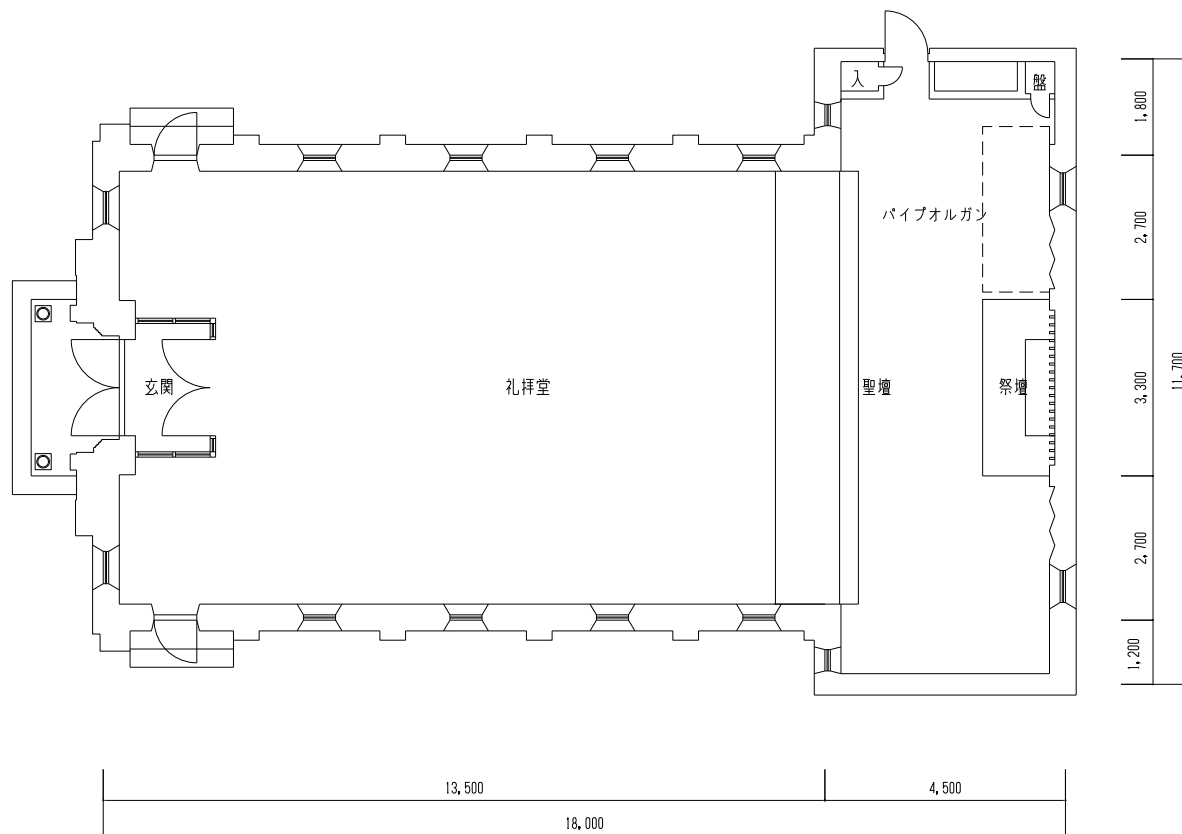
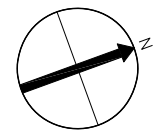
東立面図



北立面図



西立面図



承認	/00.00.00	完成	/	竣工	/
確認	/00.00.00	確認	/		/
作成	/00.00.00	作成	/		/

特記	竣工年月	1959年10月	種別	教会コンクリート造
	設計者	一般社団法人 日本建築学会	階	本層建て
	竣工者	株式会社 物産工業部	総面積	170.01㎡
	設計者	2006年 一部解体	延床面積	170.01㎡

図名	ランバス記念礼拝堂 平面図
縮尺	1/100

西宮市景観 重要建造物 保全計画	関西学院大学：ランバス記念礼拝堂
(1) 保全方針	●スパニッシュ・ミッションスタイルにより建設された建築群において、特に景観的に重要な要素であるランバス記念礼拝堂及びこれと一体となった緑豊かな前庭空間の建築的・景観的特色を保全する。
(2) 指定建築物 の外観の意 匠・構造・材 料等に関する事項	<p>●以下の歴史的意匠等を保全する。</p> <p>*名称：ランバス記念礼拝堂</p> <p>*構造：鉄筋コンクリート造 地上1階</p> <p>*屋根：スパニッシュ瓦葺き（上丸、下丸の組合せ）勾配屋根</p> <p>*外壁等：スタッコ引き抜き仕上げの上塗装</p> <p>*開口部(窓等)：アーチ窓又は縦長窓（金属および木製、こげ茶色） （窓のプロポーションとその連なりによって独特のリズム感を生み出している）</p> <p>*その他装飾：立面図のとおり</p>
(3) 敷地の利用、 木竹等に関する事項	<p>●中央広場空間に至る前庭空間に関する事項 本建築物から中央広場空間までの前庭部分を現状のとおり保全する。</p> <p>●木竹等に関する事項 敷地内の植栽の保全に努める。</p>

西宮市都市 景観形成建 築物等指定	関西学院大学：学院本部棟・経済学部棟・文学部棟・神学部棟
所在地	西宮市上ヶ原一番町二番地 10 他
敷地・指定 建築物等の 概要	<p>●敷地の概要</p> <p>*規模 : 約 134,392.21 m² (北敷地)</p> <p>*配置 : 甲山を望む軸線上に設けられた中央広場を囲むこれら建築群は、学院キャンパスのみならず眺望景観を特色づける配置がなされている。</p> <p>●指定建築物の概要</p> <p>*建築年 : 昭和4年(1929年)</p> <p>*名称 : 学院本部棟・経済学部棟・文学部棟・神学部棟</p> <p>*構造 : 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階</p> <p>*建築面積 : 別紙のとおり</p> <p>*延べ面積 : 別紙のとおり</p> <p>*屋根 : 別紙のとおり</p> <p>*パラペット : スパニッシュ瓦葺きの勾配屋根形状</p> <p>*外壁等 : スタッコ引き抜き仕上げの上塗装</p> <p>*開口部(窓等) : アーチ窓又は縦長窓(金属および木製, こげ茶色) (窓のプロポーションとその連なりによって独特のリズム感を生み出している)</p> <p>*その他装飾 : 立面図のとおり</p>
指定理由	<p>学院本部棟、経済学部棟、文学部棟、神学部棟は、昭和4年(1929年)のキャンパス開設当初からの建築物で、W.M. ヴォーリズの設計によるスパニッシュ・ミッションスタイルで統一された学院キャンパス景観を構成している。</p> <p>これらの建築群は、学院キャンパスのシンボルとなる景観重要建造物の時計台とその前面に広がる中央広場を囲んで、そのファサード、ボリュームがシンメトリーになるよう構成されており、甲山への眺望景観の軸線を強調するとともに、秩序と美しさを備える広場空間を形成している。</p> <p>この中央広場空間は、市民に開放された学院キャンパスのシンボルエリアでもあり、これを構成する建築群は、屋根、外壁の材料・色調を合わせ、周囲の樹木とともに、周辺環境と一体となった緑豊かで開放的な景観を形成している。</p> <p>こうしたキャンパス景観とともに眺望景観を形成する上で重要と認められる中央広場空間を構成する学院本部棟、経済学部棟、文学部棟、神学部棟を都市景観形成建築物に指定する。</p>

■別紙

*建築面積

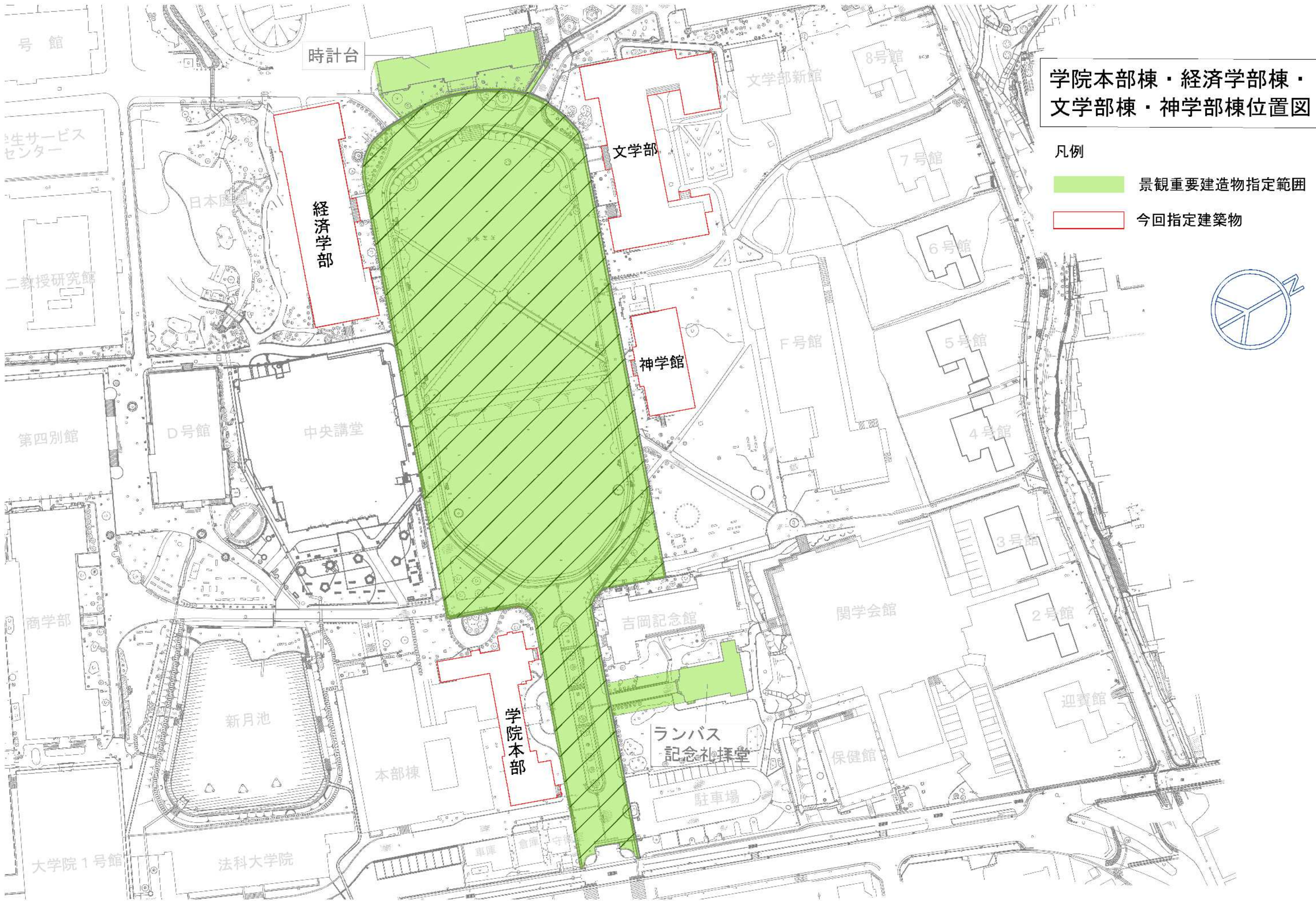
- ①学院本部棟 : 約 593 m²
- ②経済学部棟 : 約 1,056 m²
- ③文学部棟 : 約 1,399 m²
- ④神学部棟 : 約 441 m²

*延べ面積

- ①学院本部棟 : 約 1,132 m²
- ②経済学部棟 : 約 2,506 m²
- ③文学部棟 : 約 3,074 m²
- ④神学部棟 : 約 978 m²

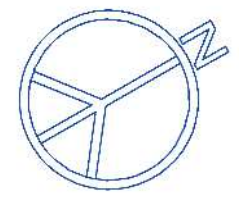
*屋根

- ①学院本部棟 : スパニッシュ瓦葺き（上丸、下丸の組合せ）勾配屋根
- ②経済学部棟 : 陸屋根、一部スパニッシュ瓦葺き（上丸、下丸の組合せ）勾配屋根
- ③文学部棟 : 陸屋根、一部スパニッシュ瓦葺き（上丸、下丸の組合せ）勾配屋根
- ④神学部棟 : 陸屋根、一部スパニッシュ瓦葺き（上丸、下丸の組合せ）勾配屋根



学院本部棟・経済学部棟・
文学部棟・神学部棟位置図

- 凡例
- 景観重要建造物指定範囲
 - 今回指定建築物



学院本部棟



付近見取り図



正面写真(北側)(左)



正面写真(北側)(中央)



正面写真(北側)(右)



遠景写真(北東側)



側面写真(西側)(左)



側面写真(西側)(右)



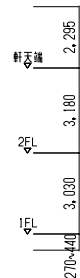
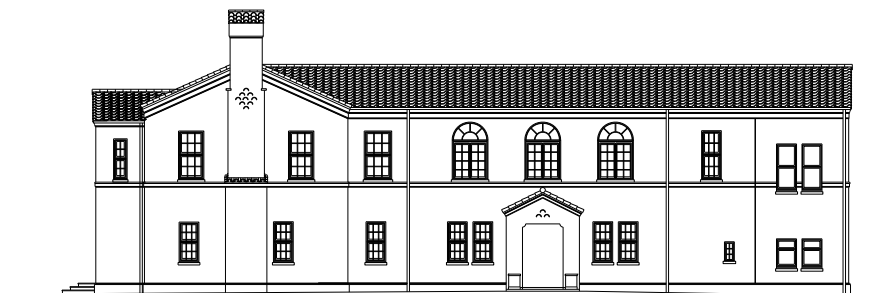
遠景写真(北西側)



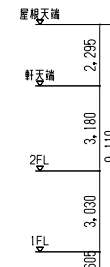
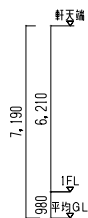
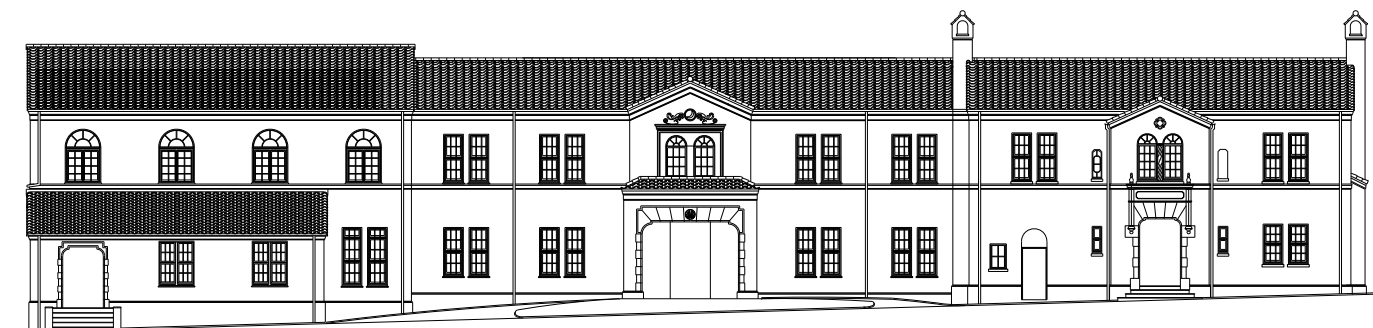
装飾



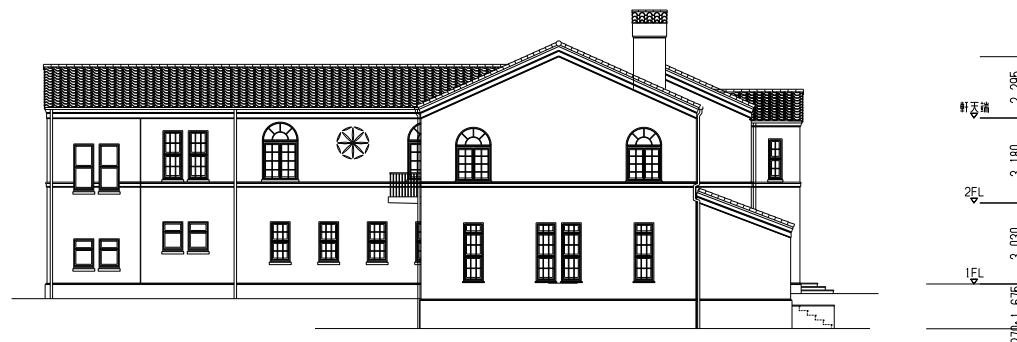
アーチ窓及びスパニッシュ瓦葺き



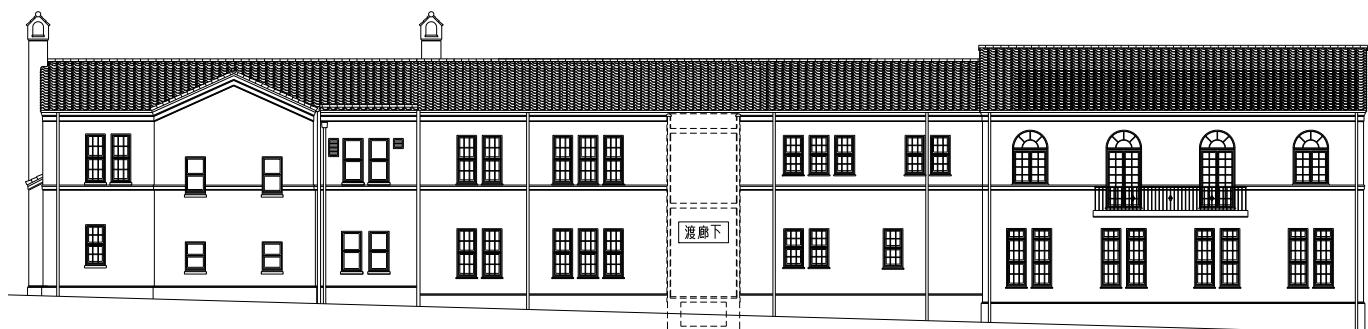
西立面图



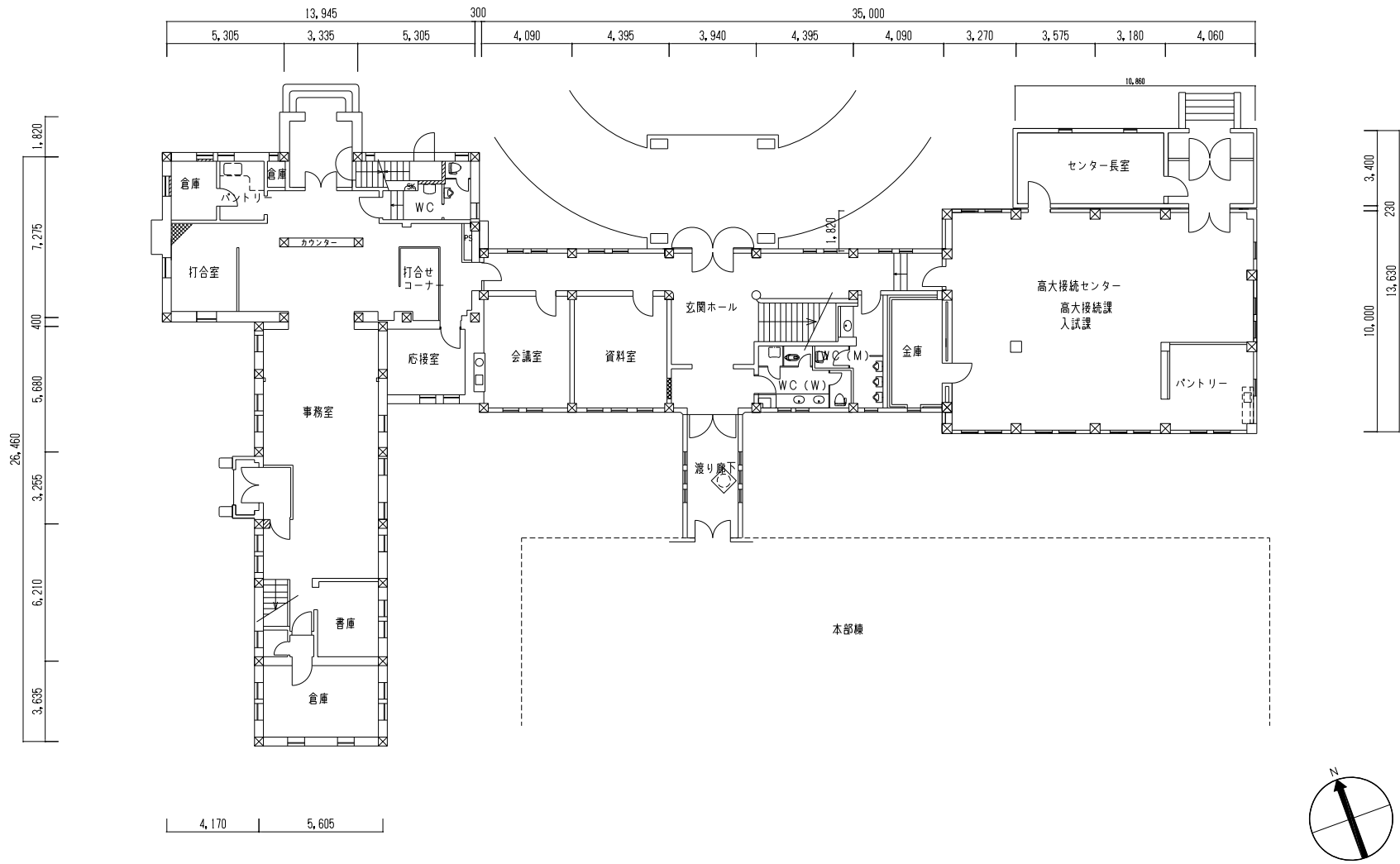
北立面图



東 立面図



南 立面図



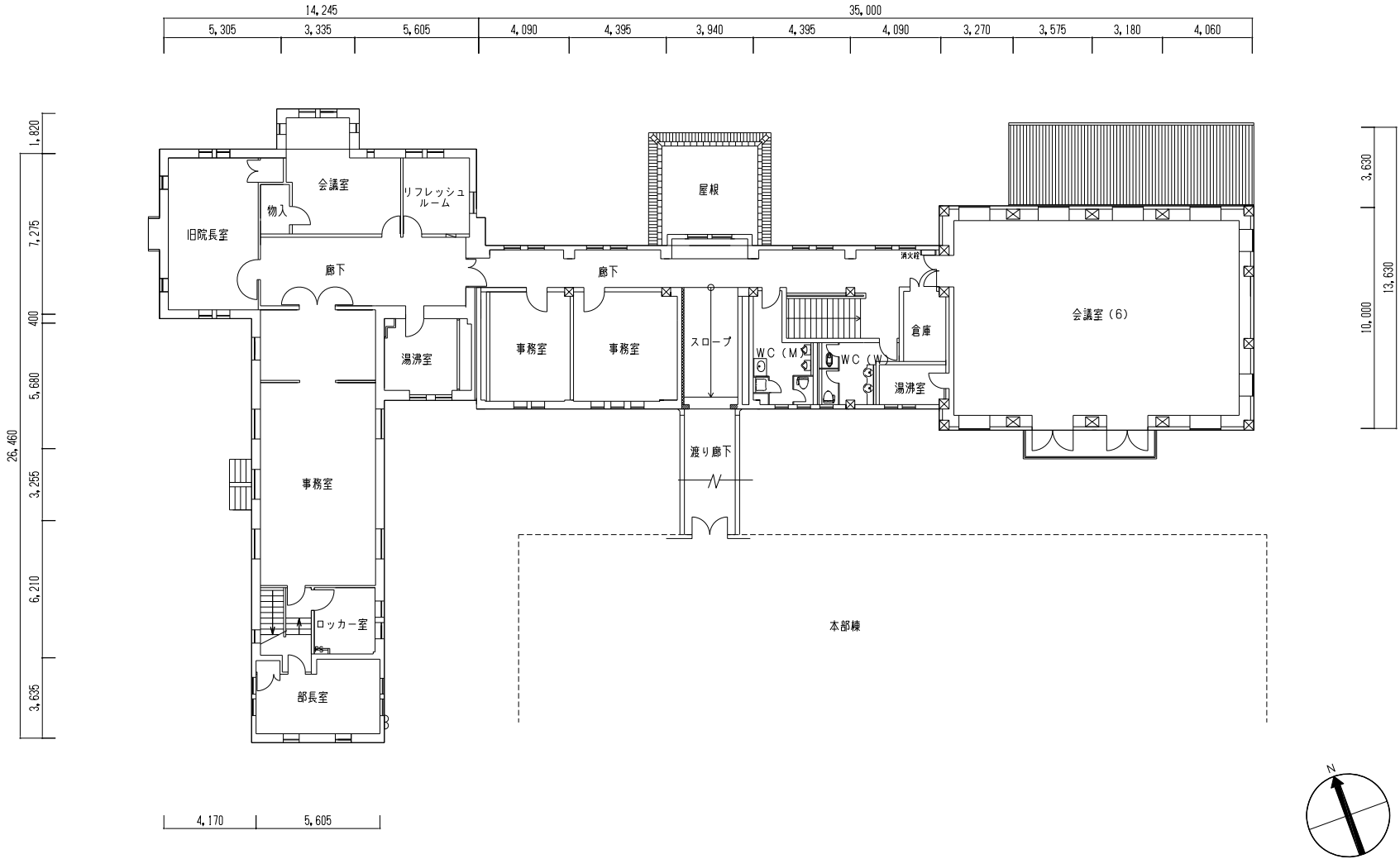


図	承認	訂正

特記	

竣工年月	1929年 3月
建築年月	高層: 1936年 高層: 1954年 高層: 1958年 (2002年解体)
設計者	フェリス建築事務所
施工者	株式会社 竹中工務店
改修年月	2004年 - 本館増設に伴う大規模改修

種	最新コンクリート造
階	地下1階・地上2階・塔屋1階
建築面積	585.20㎡
延床面積	1,132.37㎡

西宮上ヶ原キャンパス

図名	学院本館棟	2 / 2	9
	2階平面図		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	区分	建築図

経済学部棟



付近見取り図



正面写真(北側)



遠景写真(北東側)



遠景写真(北東側)②



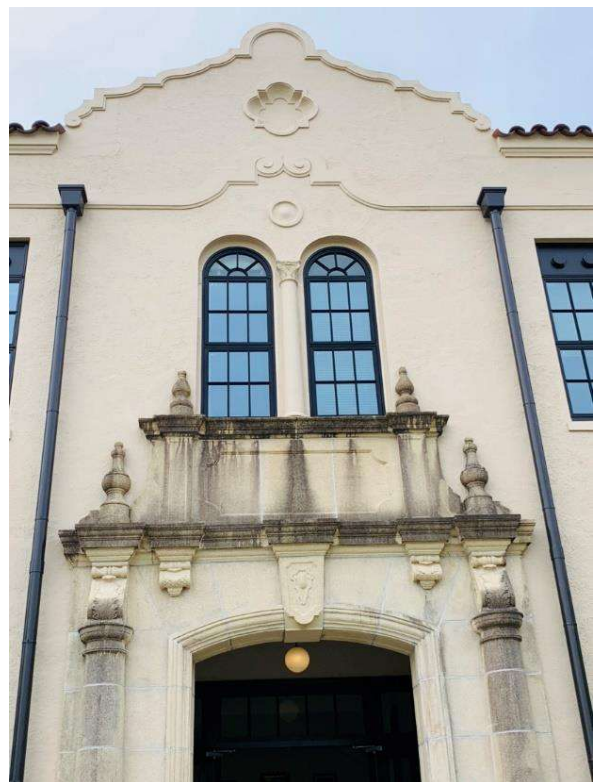
側面写真(西側)



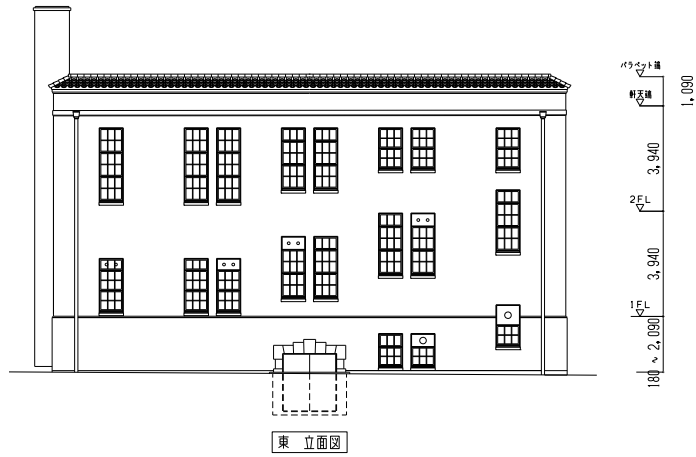
縦長窓



アーチ窓及び装飾

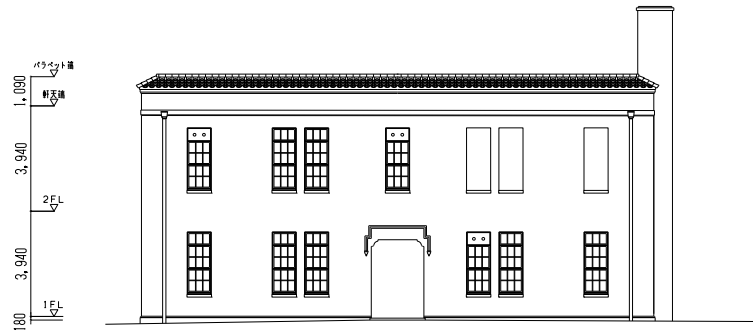


(拡大)

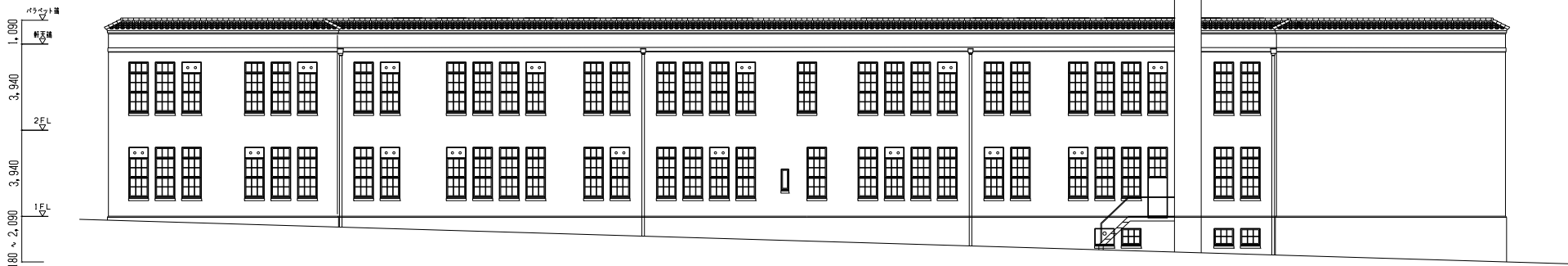


発注	/00.00.00	完成	/00.00.00
設計	/00.00.00	監理	/00.00.00
作成	/00.00.00	校核	/00.00.00

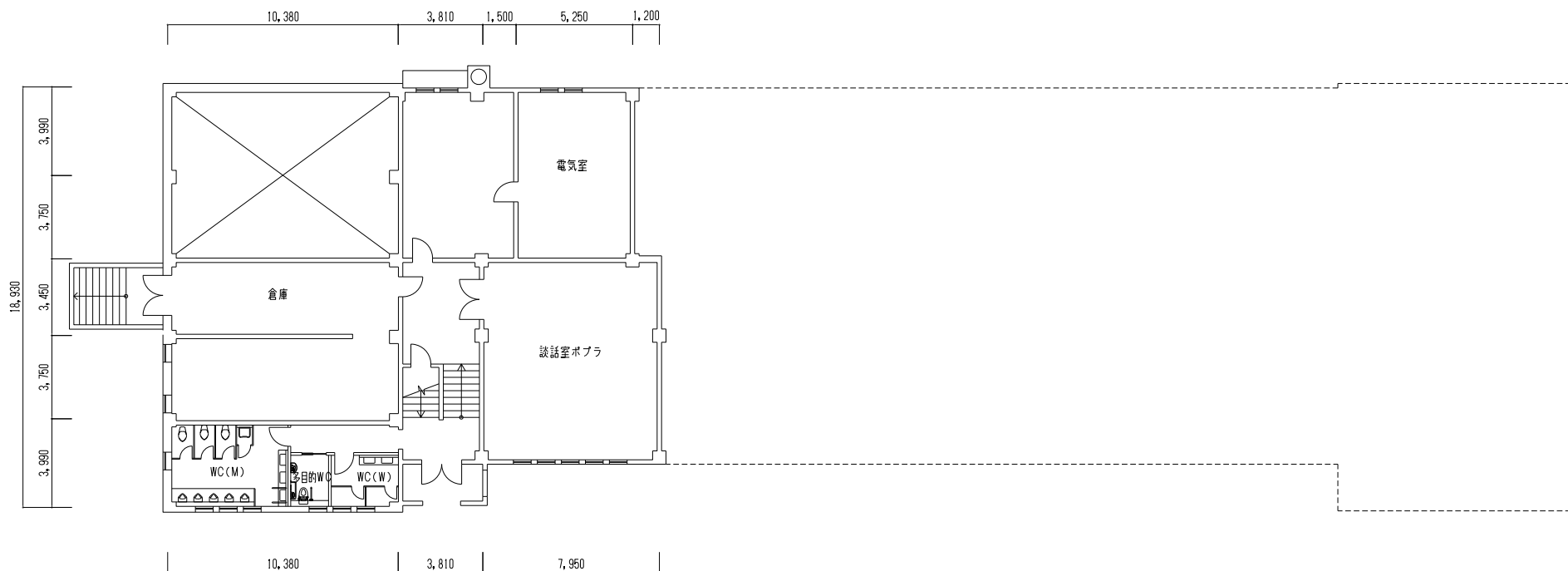
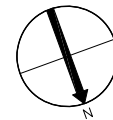
訂正	
特記	

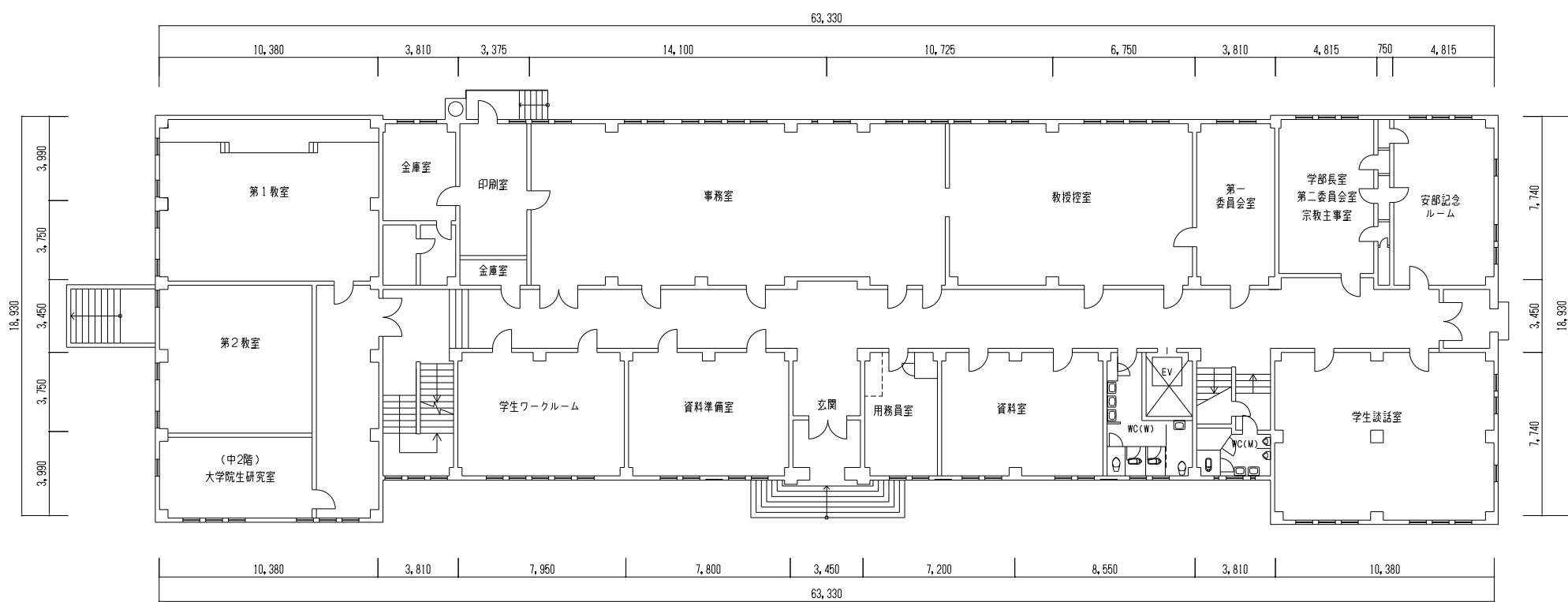
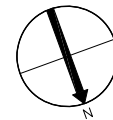


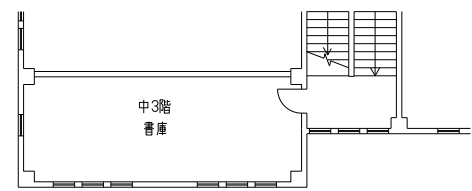
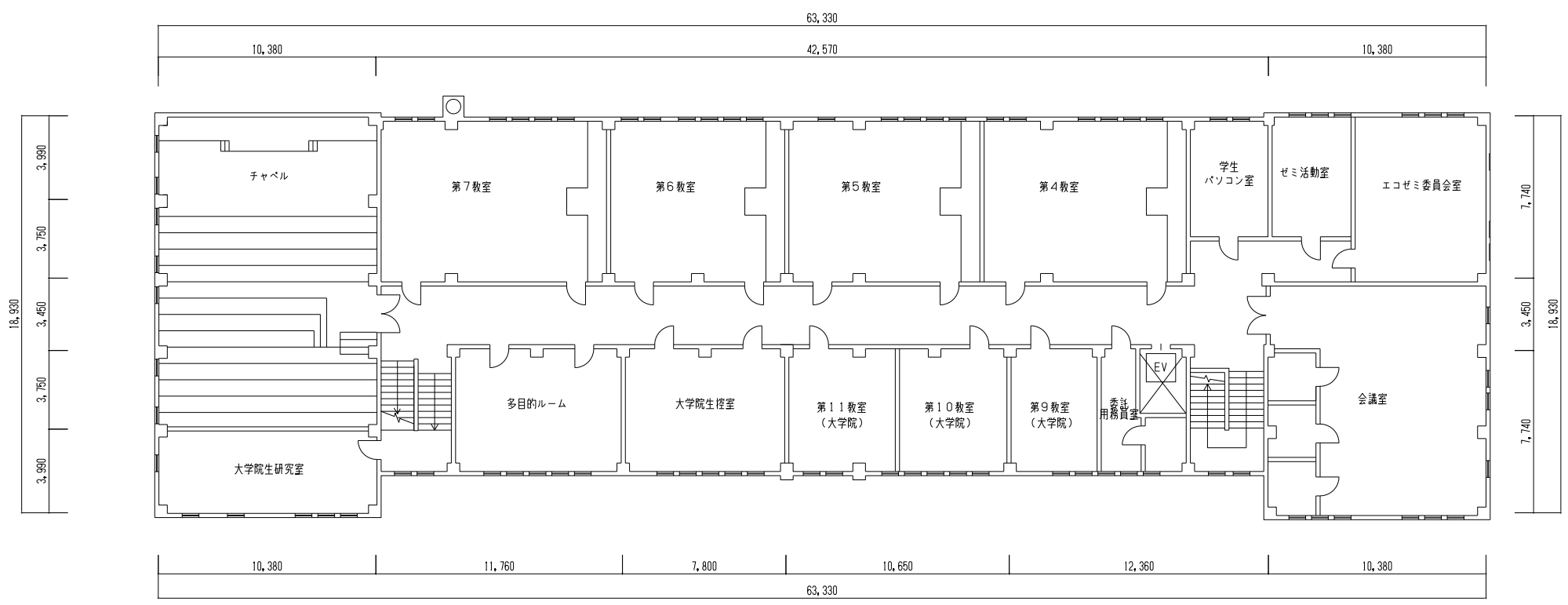
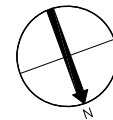
西立面図



南立面図







文学部棟



付近見取り図



正面写真(南側)



遠景写真(南東側)



背面写真(北側)



背面写真(北側)②



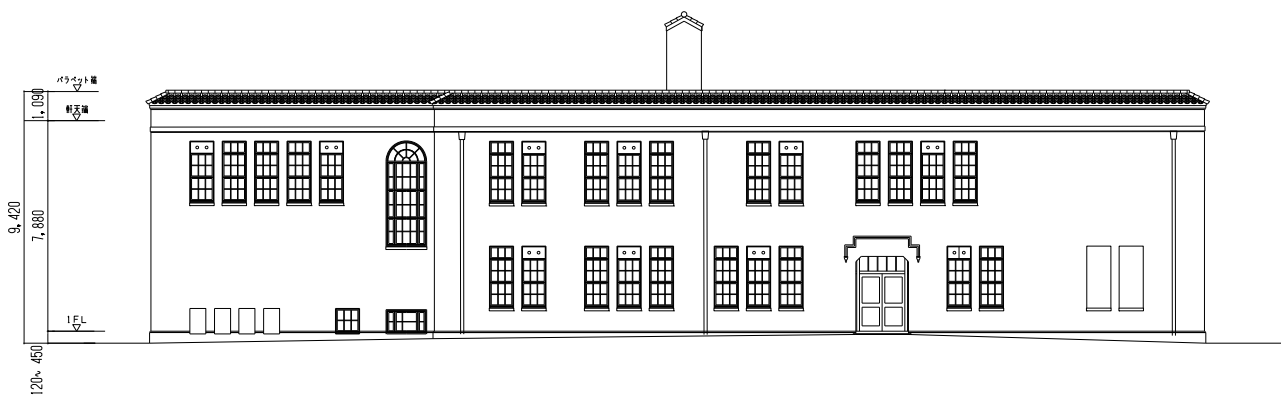
アーチ窓



縦長窓及び装飾



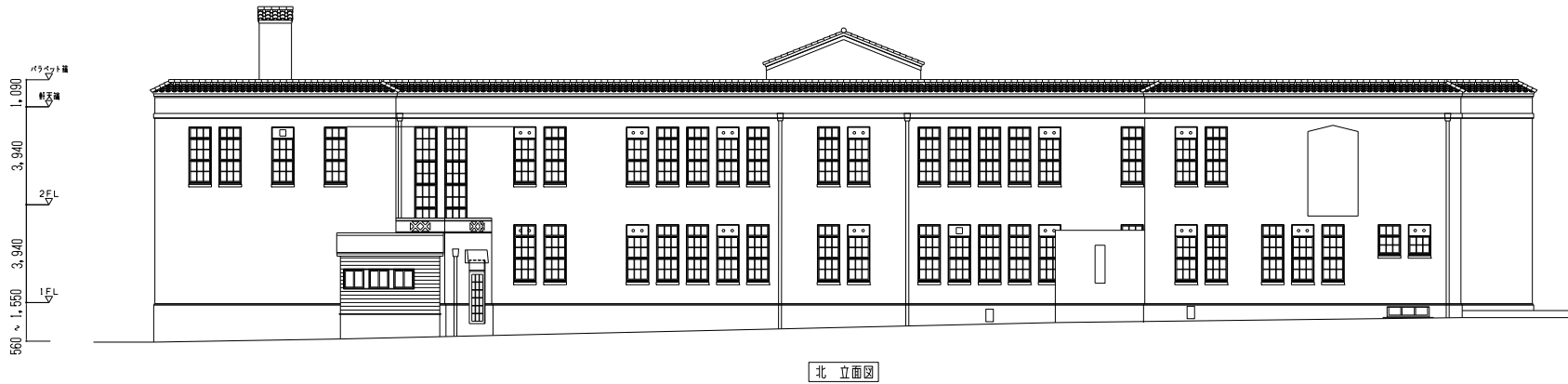
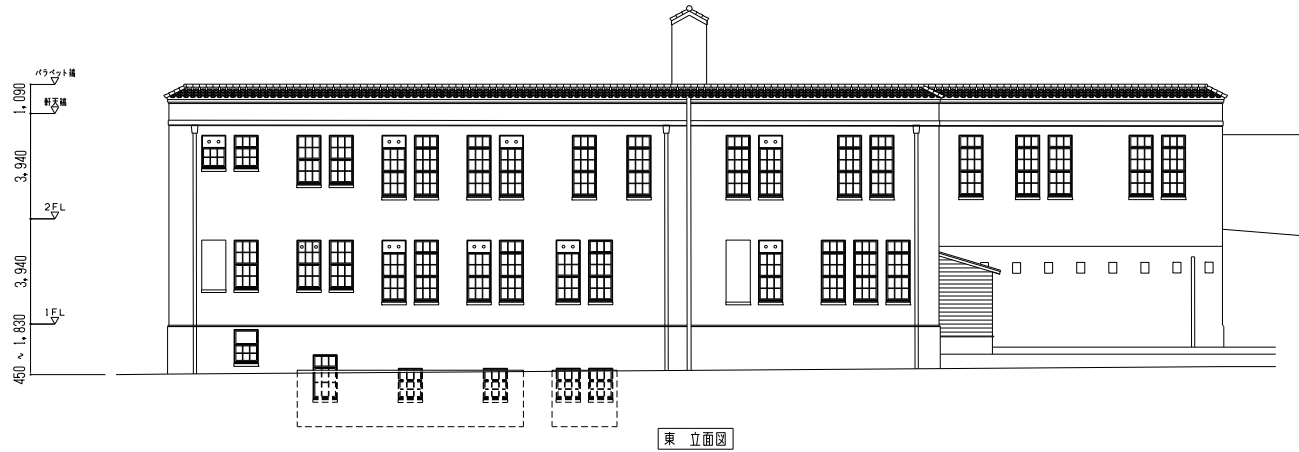
(拡大)

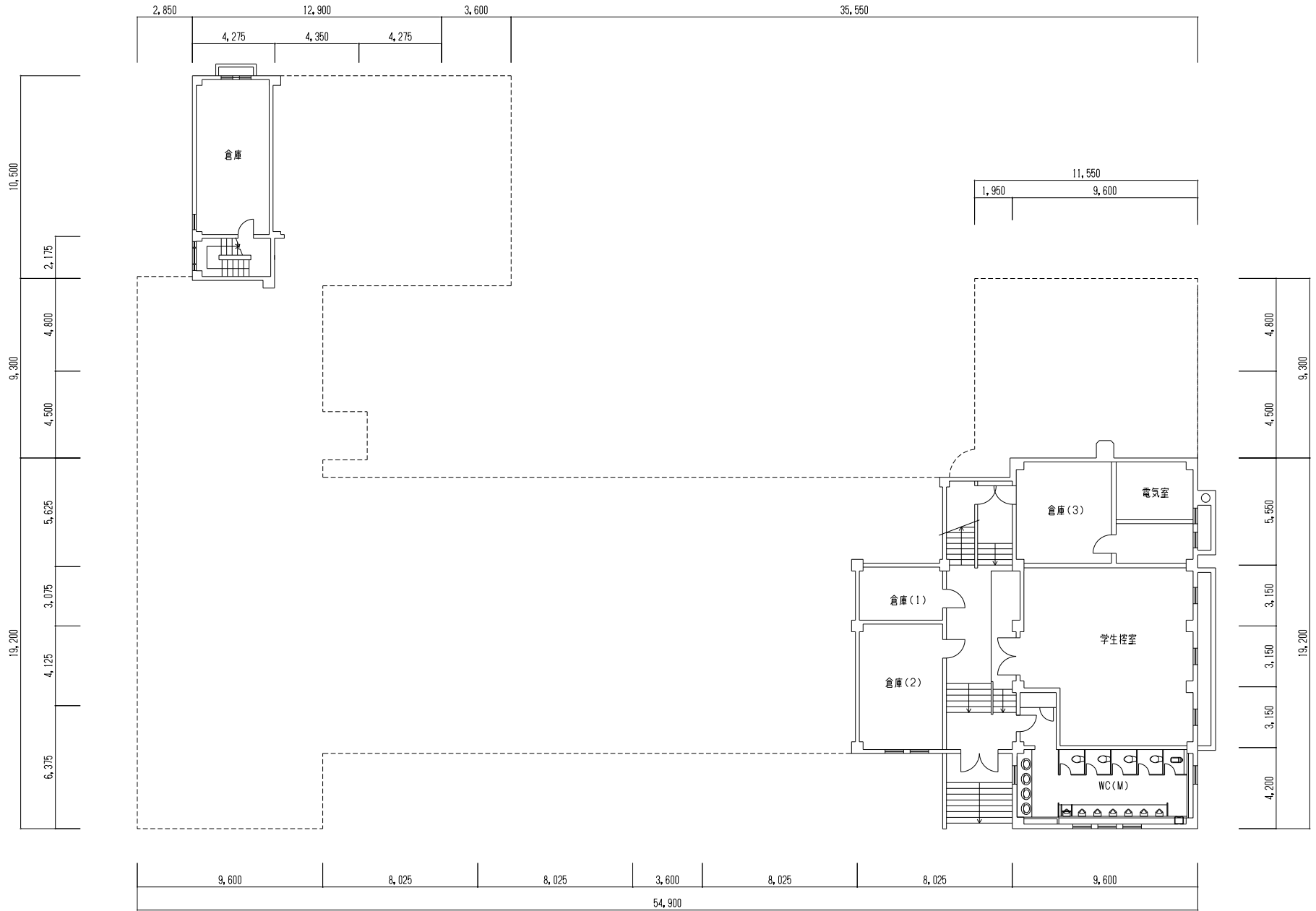
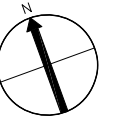


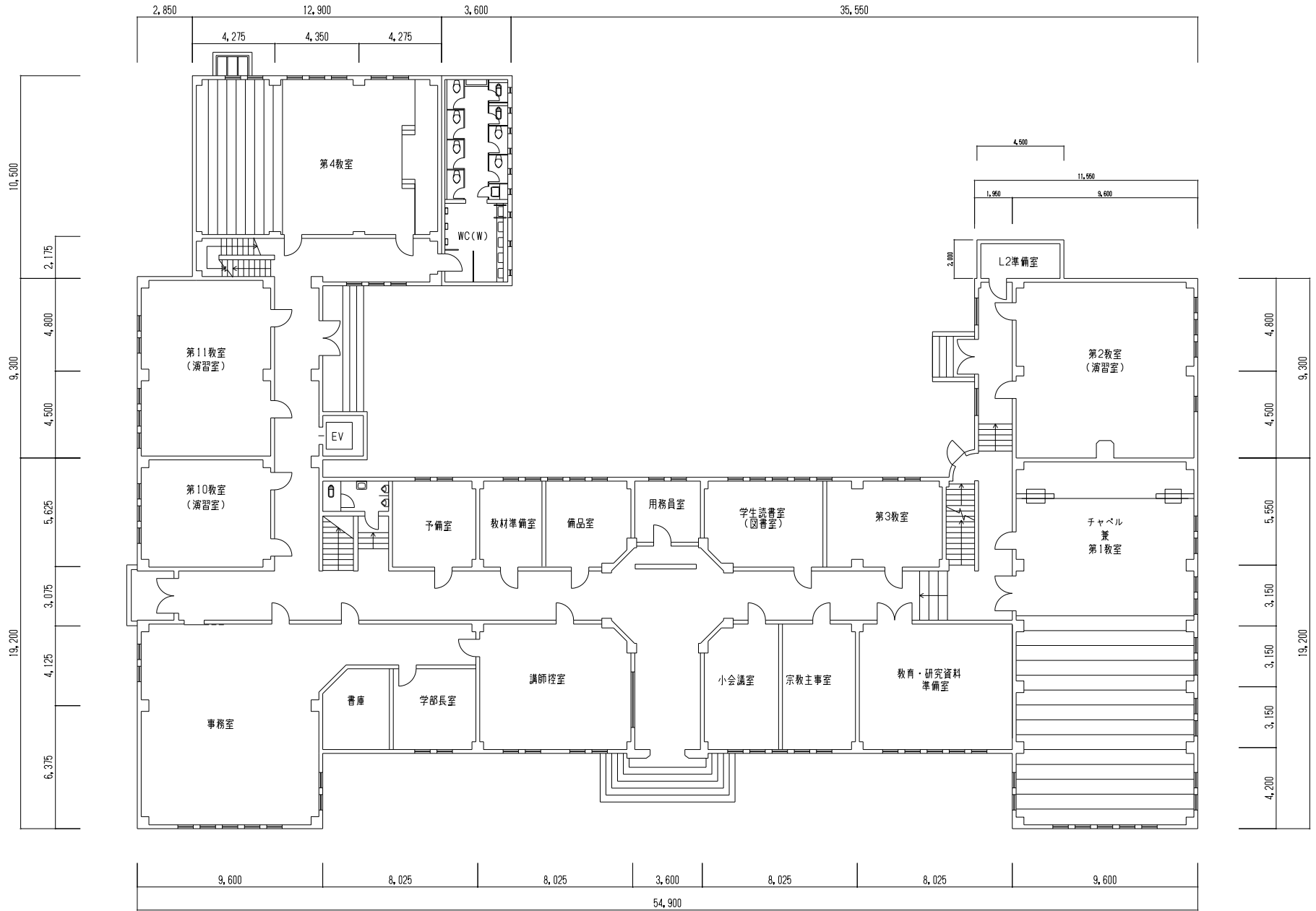
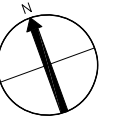
西立面図

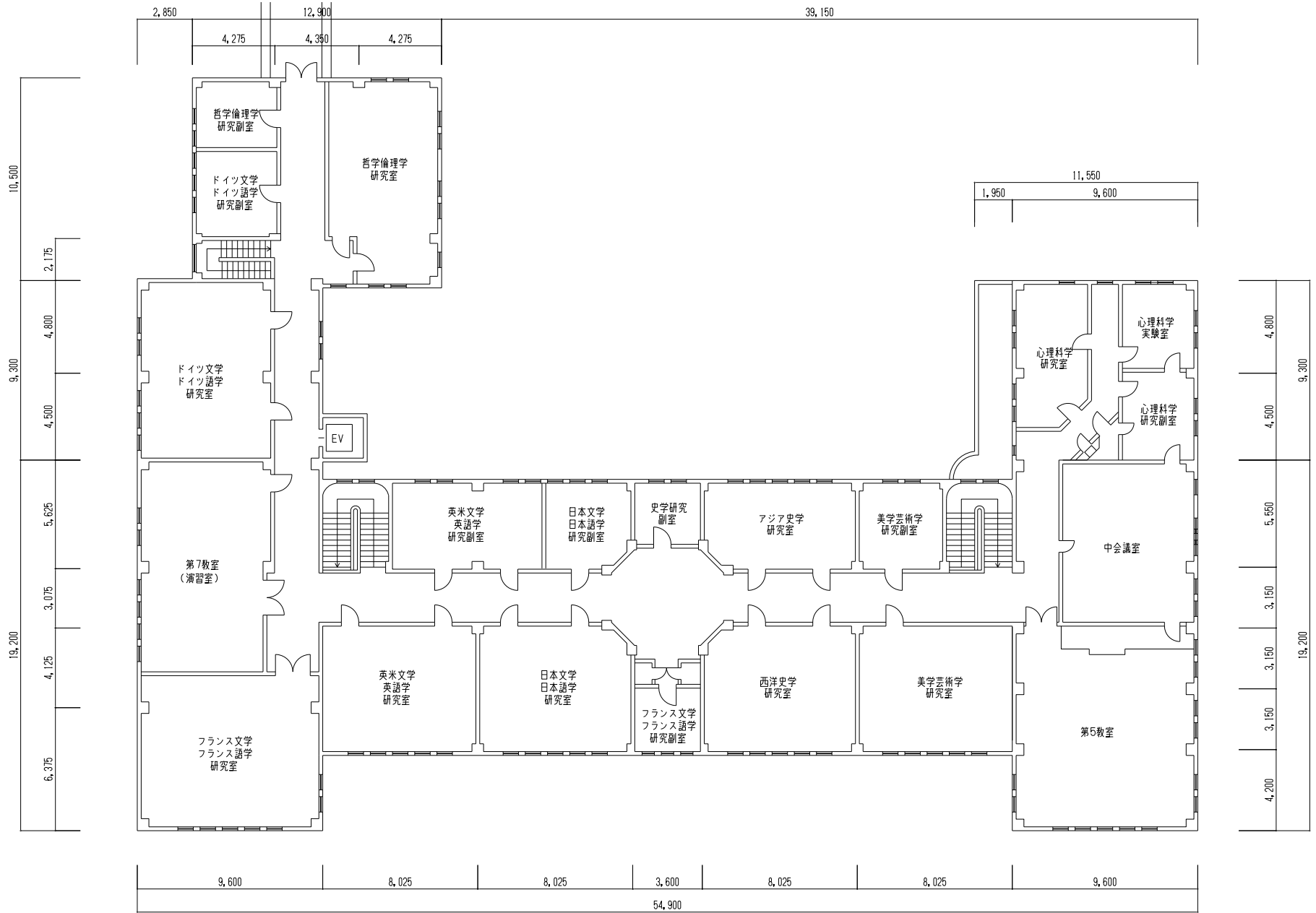
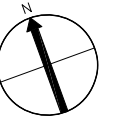


南立面図

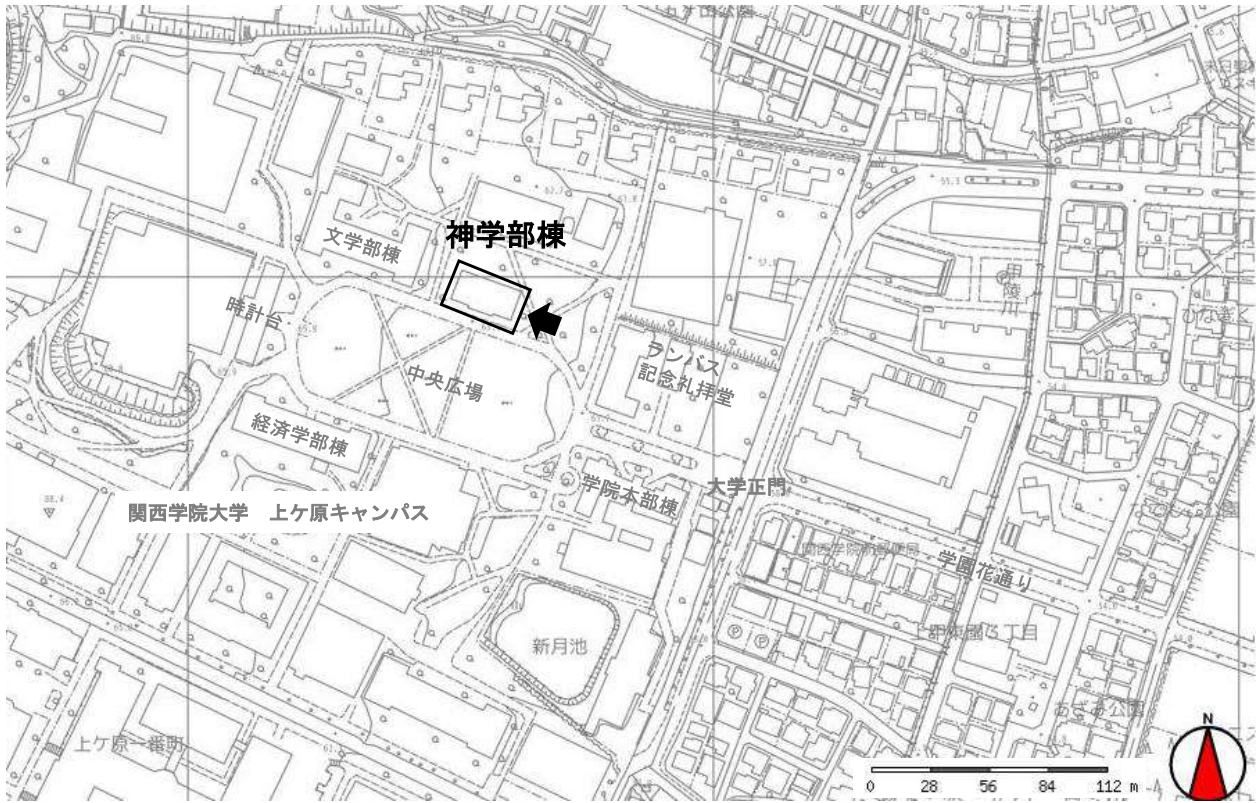








神学部棟



付近見取り図



正面写真(南側)



遠景写真(南東側)



側面写真(北東角)



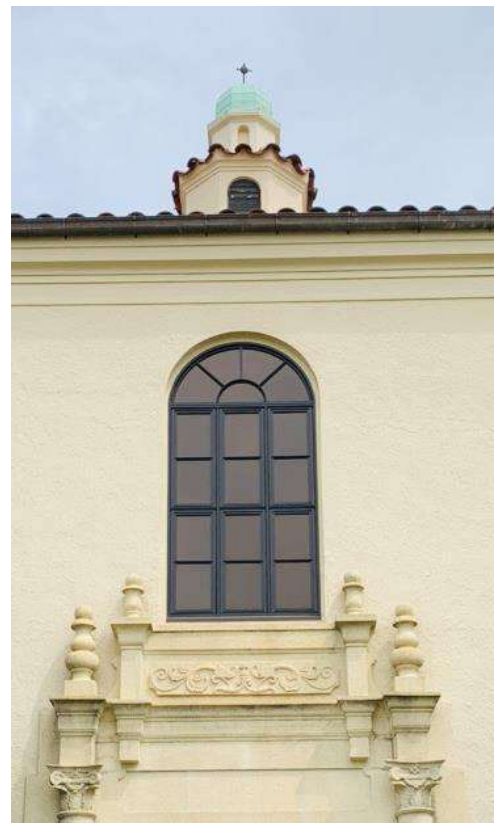
側面写真(北西角)



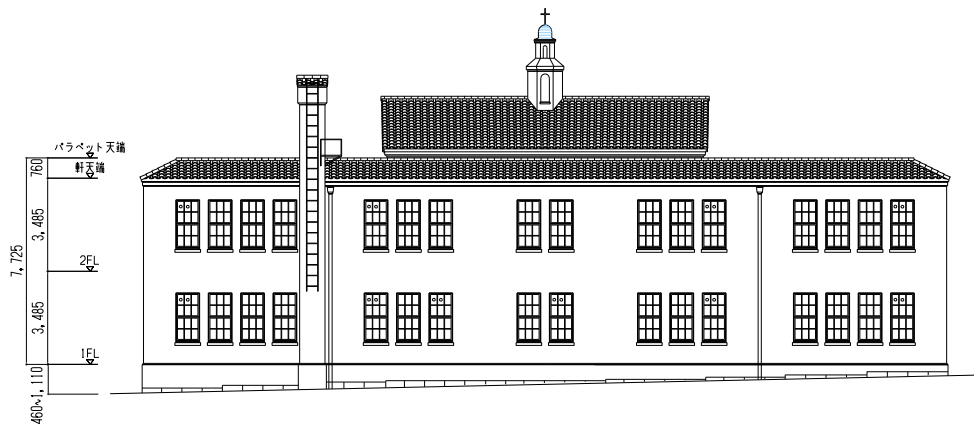
装飾(東側)



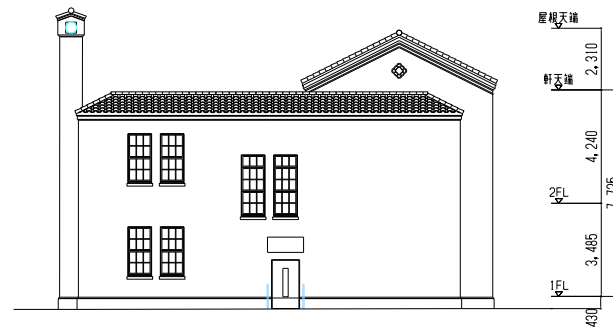
尖塔、アーチ窓及び装飾



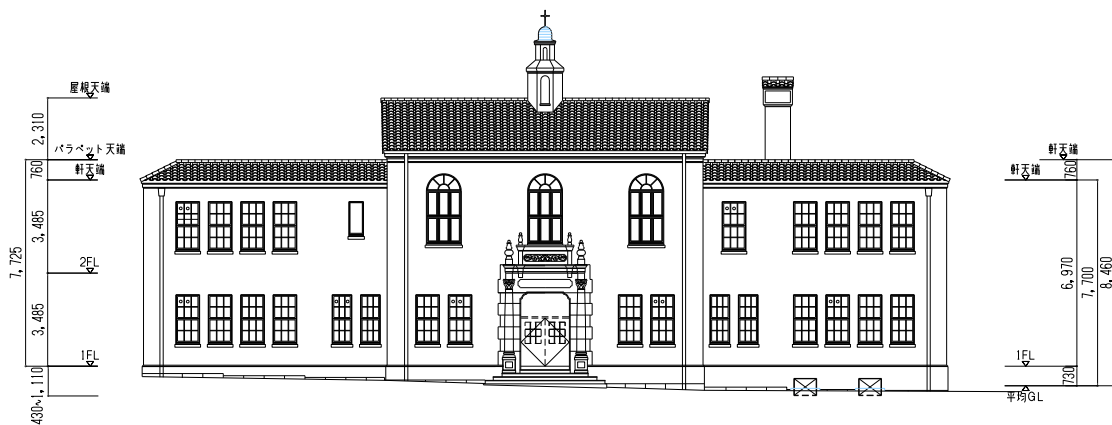
(拡大)



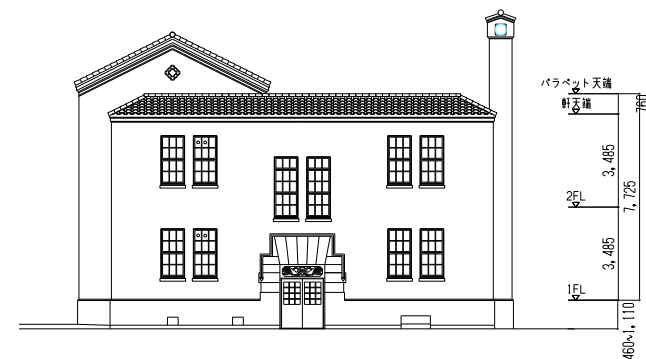
北 立面図



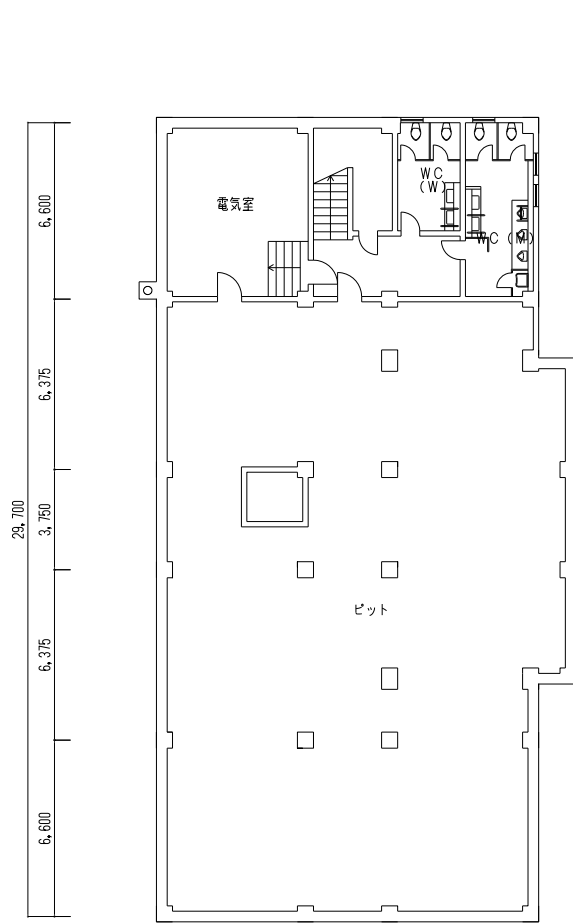
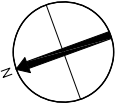
西 立面図



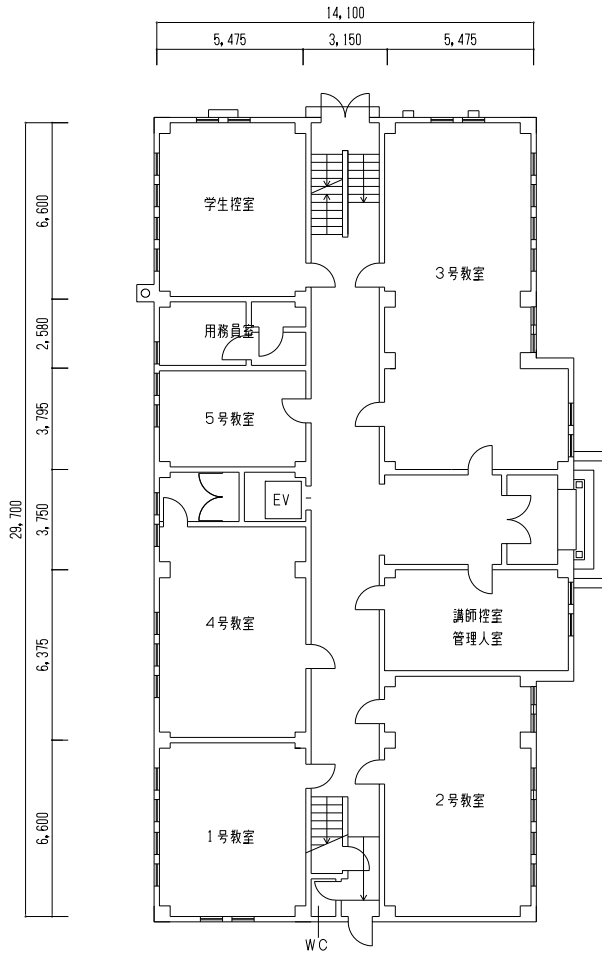
南 立面図



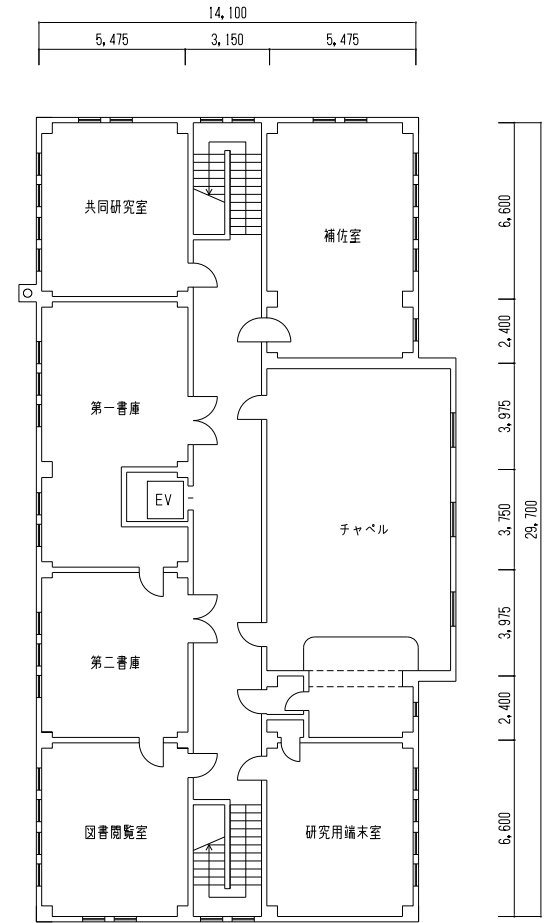
東 立面図



B1階平面図



1階平面図



2階平面図

西宮市都市景観形成建築物等保全計画	関西学院大学：学院本部棟・経済学部棟・文学部棟・神学部棟
(1) 保全方針	●景観重要建造物である時計台とその前面に広がる中央広場とともに広場空間を形成する、スパニッシュ・ミッションスタイルにより建設された学院本部棟、経済学部棟、文学部棟、神学部棟の建築的・景観的特色を保全する。
(2) 指定建築物の外観の意匠・構造・材料等に関する事項	<p>●以下の歴史的意匠等を保全する。</p> <p>*名称：学院本部棟・経済学部棟・文学部棟・神学部棟</p> <p>*構造：鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階</p> <p>*屋根：別紙のとおり</p> <p>*パラペット：スパニッシュ瓦葺きの勾配屋根形状</p> <p>*外壁等：スタッコ引き抜き仕上げの上塗装</p> <p>*開口部（窓等）：アーチ窓又は縦長窓（金属および木製, こげ茶色） （窓のプロポーションとその連なりによって独特のリズム感を生み出している）</p> <p>*その他装飾：立面図のとおり</p>
(3) 敷地の利用、木竹等に関する事項	<p>●各建築物から中央広場空間に至る前庭空間に関する事項 前庭部分の配置構成要素を現状のとおり保全する。</p> <p>●木竹等に関する事項 敷地内の鍔御影石石積みや植栽の保全に努める。</p>

■別紙

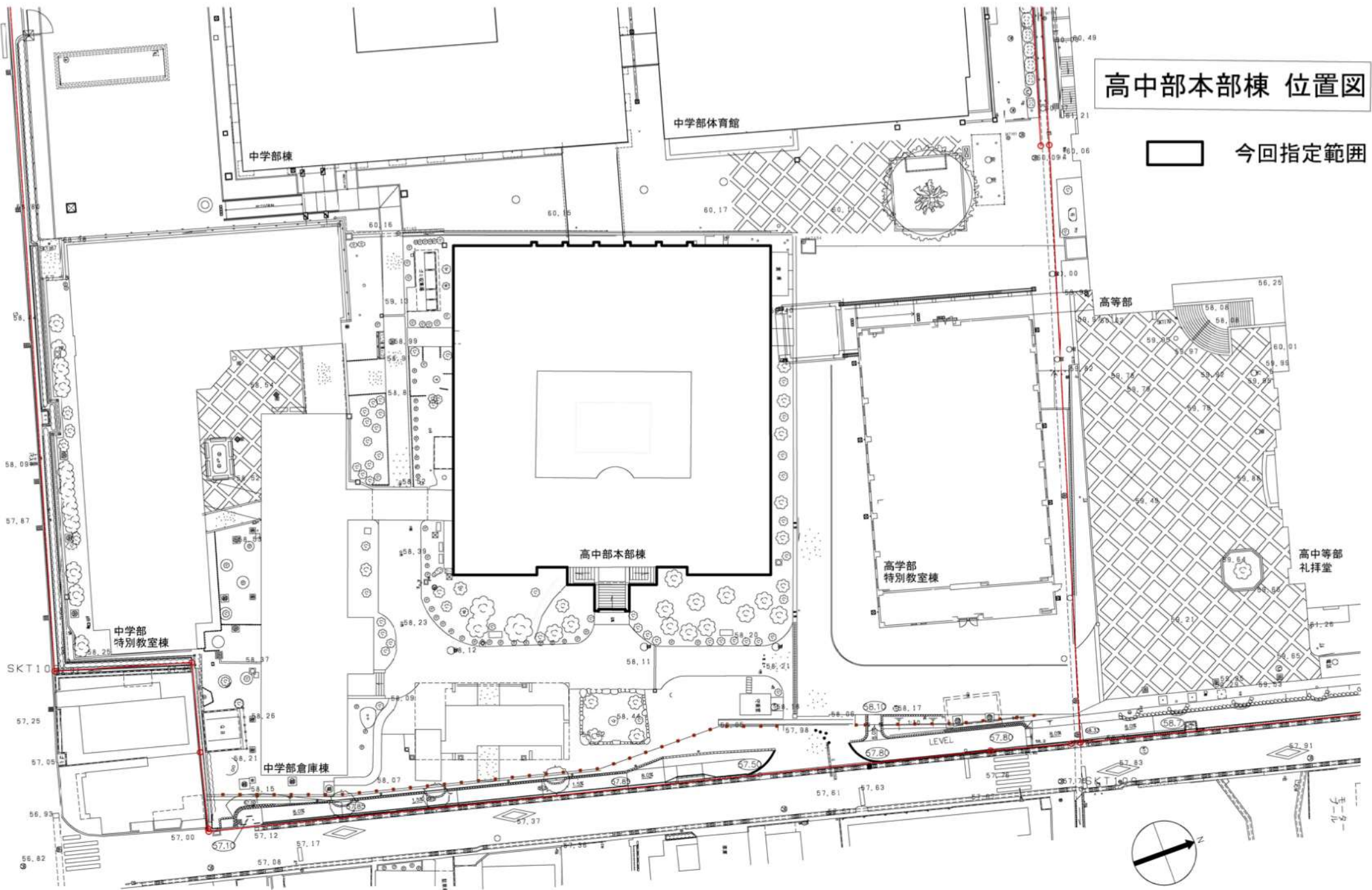
*屋根

- ①学院本部棟 : スパニッシュ瓦葺き (上丸、下丸の組合せ) 勾配屋根
- ②経済学部棟 : 陸屋根、一部スパニッシュ瓦葺き (上丸、下丸の組合せ) 勾配屋根
- ③文学部棟 : 陸屋根、一部スパニッシュ瓦葺き (上丸、下丸の組合せ) 勾配屋根
- ④神学部棟 : 陸屋根、一部スパニッシュ瓦葺き (上丸、下丸の組合せ) 勾配屋根

西宮市都市 景観形成建 築物等指定	関西学院：高中部本部棟
所在地	西宮市上ヶ原一番町二番地 36
敷地・指定 建築物等の 概要	<p>●敷地の概要</p> <p>*規模 : 約 100,976.44 m² (南敷地)</p> <p>*配置 : 生垣を巡らした敷地に、歴史的シンボルである本建築物を中心として、これを取り囲むように中等部及び高等部の校舎が配置されている。</p> <p>●指定建築物の概要</p> <p>*建築年 : 昭和8年(1933年)</p> <p>*名称 : 高中部本部棟</p> <p>*構造 : 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階</p> <p>*建築面積 : 約 1,134 m²</p> <p>*延べ面積 : 約 2,616 m²</p> <p>*屋根 : 陸屋根、一部スパニッシュ瓦葺き(上丸、下丸の組合せ) 勾配屋根</p> <p>*パラペット : スパニッシュ瓦葺きの勾配屋根形状</p> <p>*外壁等 : スタッコ引き抜き仕上げの上塗装</p> <p>*開口部(窓等) : アーチ窓又は縦長窓(金属および木製、こげ茶色) (窓のプロポーションとその連なりによって独特のリズム感を生み出している)</p> <p>*その他装飾 : 立面図のとおり</p>
指定理由	<p>高中部本部棟は、キャンパス開設初期からの建築物で、昭和8年(1933年)に W. M. ヴォーリズ の設計によるスパニッシュ・ミッションスタイルで統一された学院キャンパス景観を構成する建築群の1つである。</p> <p>回廊型の本建築物は、その後クラスター状に配置・建設された高中部校舎群の核となり、過去と現在を繋ぐシンボルとして、ワシントンアヤクスノキ等の樹木とともに特色ある景観形成に寄与している。</p> <p>こうした特色あるキャンパス景観を形成する高中部本部棟は、都市景観形成上重要な建築物と認められ、都市景観形成建築物に指定する。</p>

高中部本部棟 位置図

今回指定範囲



名	建築
種	建築
業	建築
種	建築
業	建築

訂	正
日	
年	
月	
日	

特	記
工	1933年4月
設	設計者 株式会社ニッポン建築事務所
計	設計者 株式会社ニッポン建築事務所
画	設計者 株式会社ニッポン建築事務所
施	設計者 株式会社ニッポン建築事務所
工	設計者 株式会社ニッポン建築事務所
事	設計者 株式会社ニッポン建築事務所

建	名	高部コンナートビル
造	種	高層ビル・商業ビル
築	年	1933年
年	月	4月
日	日	
積	造	1,134.00㎡
造	積	2,574.06㎡

高中部本部棟



付近見取り図



正面写真(東側)



側面写真(北東角)



遠景写真(北東角)



側面写真(南側)



側面写真(西側)



側面写真(北西角)



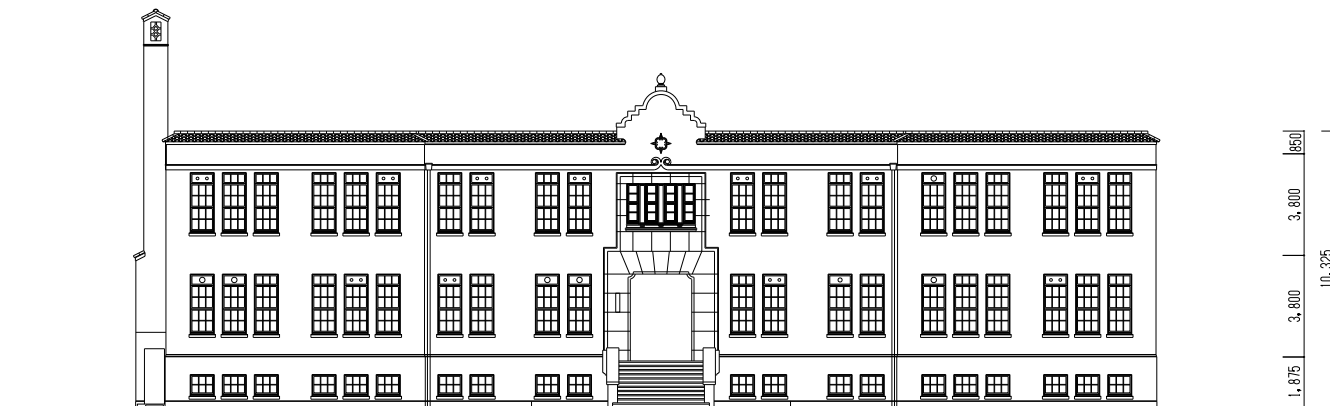
縦長窓及び装飾



縦長窓及び装飾(拡大)



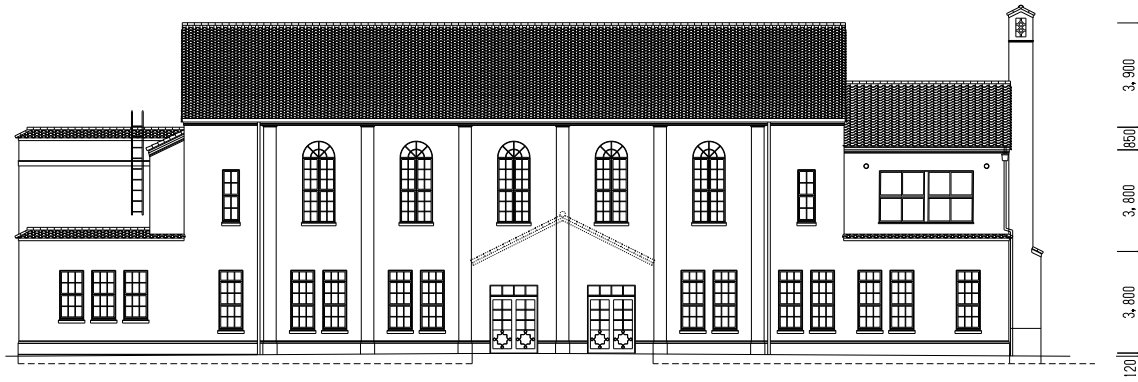
北立面図



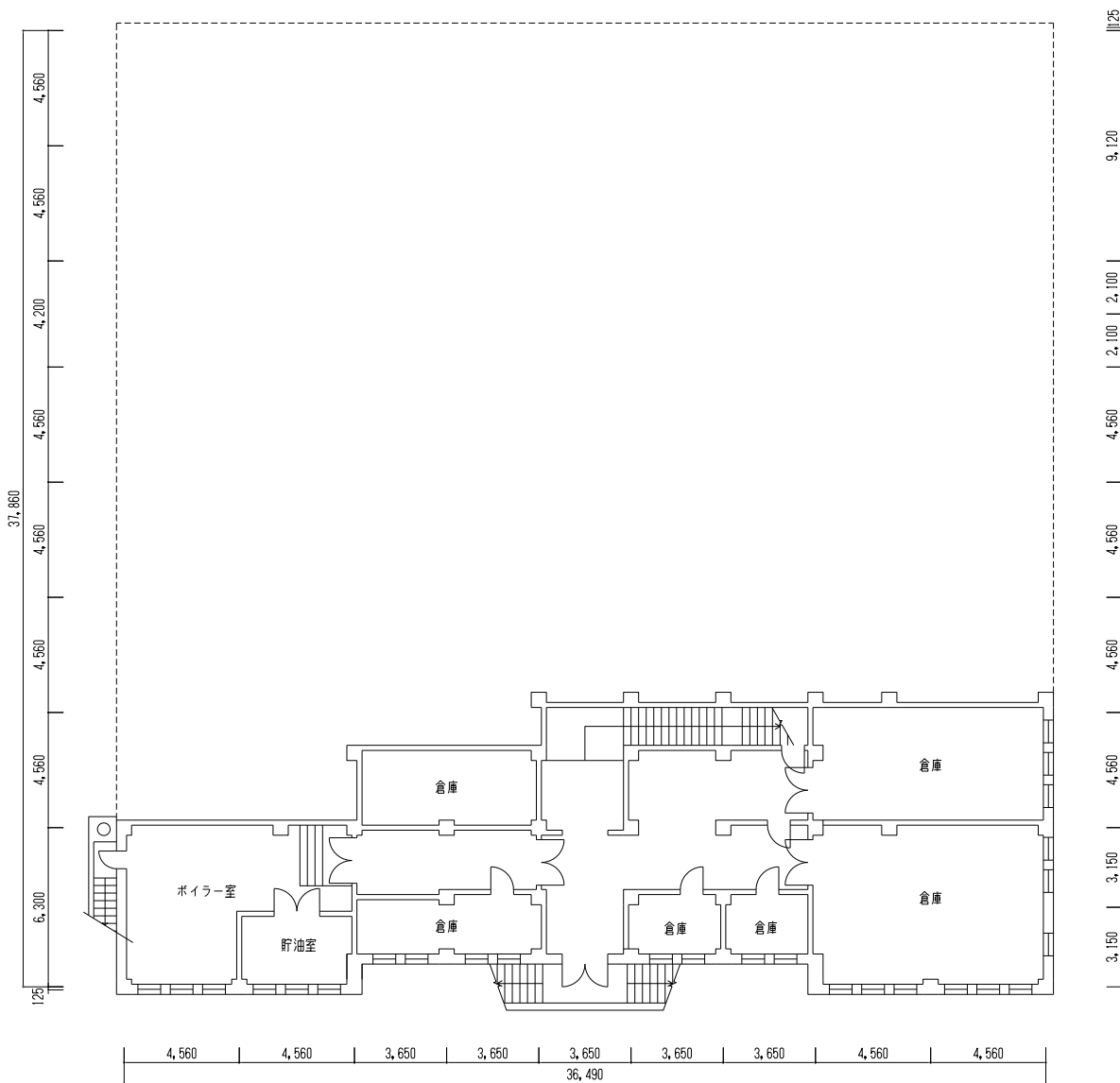
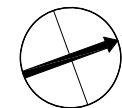
東立面図

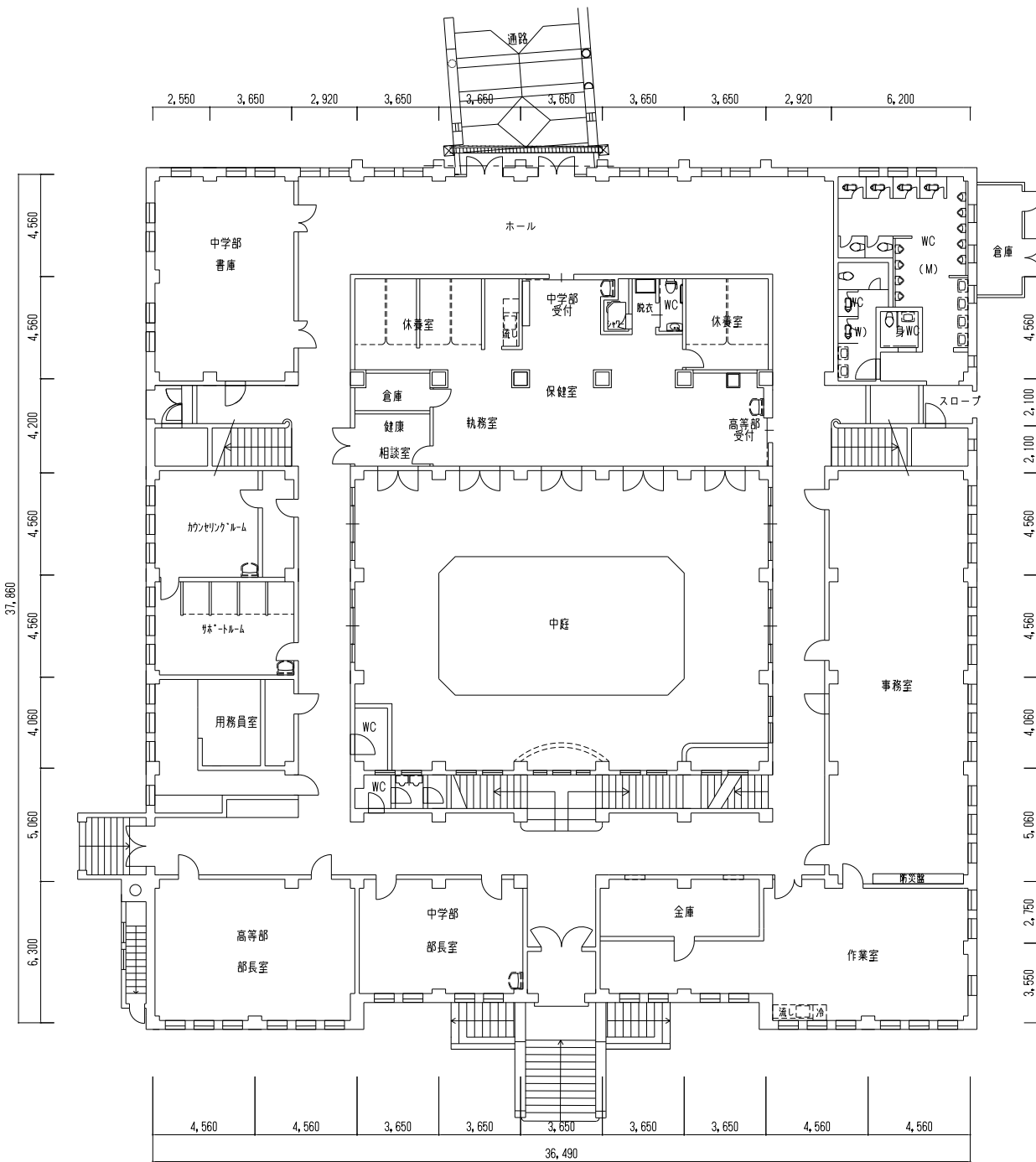


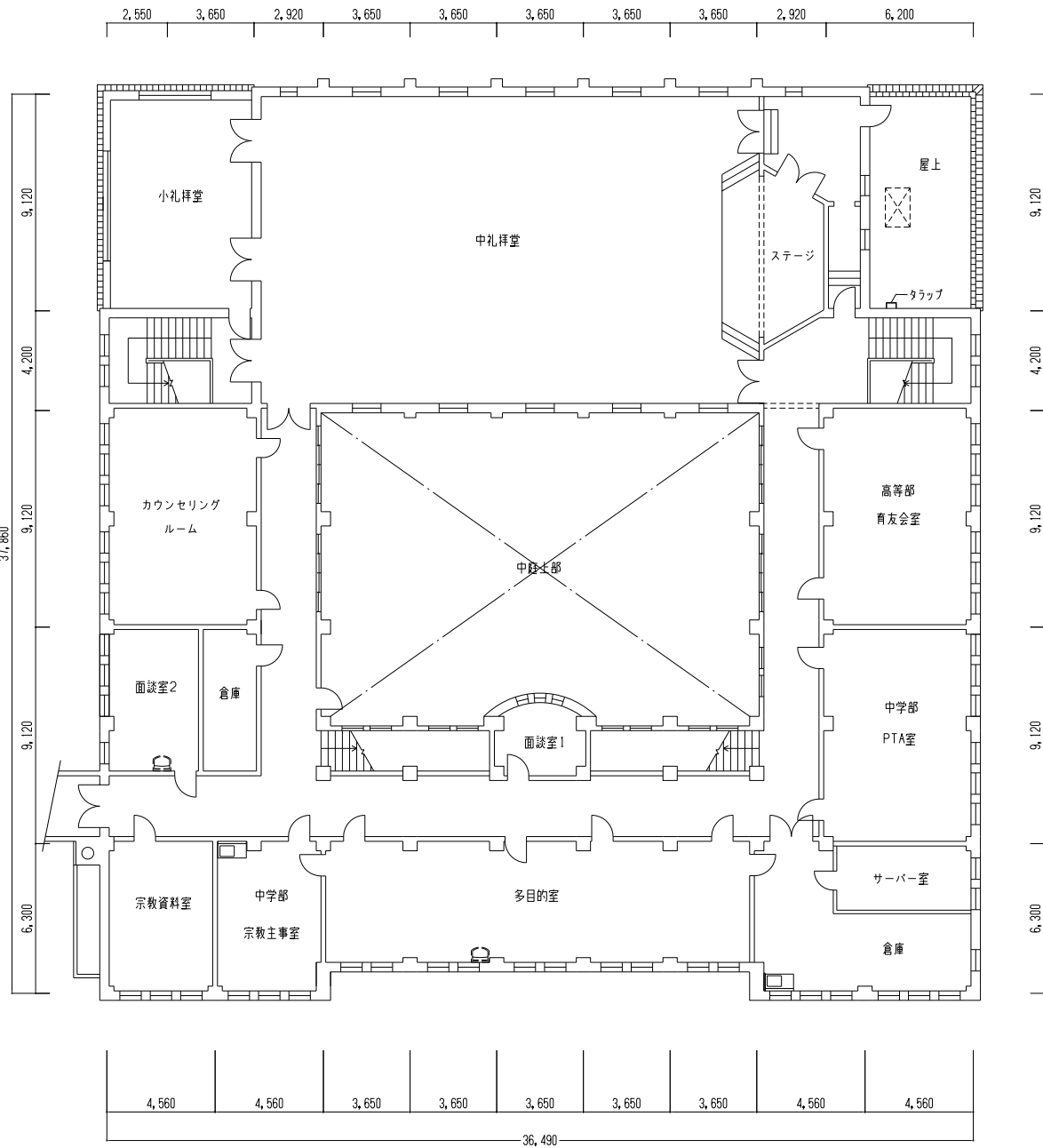
南立面図



西立面図







西宮市都市景観形成建築物保全計画	関西学院：高中部本部棟
(1) 保全方針	●スパニッシュ・ミッションスタイルにより統一された中高部校舎群の中で核となり、周囲の緑と一体となった空間を形成している本建築物の建築的・景観的特色を保全する。
(2) 指定建築物の外観の意匠・構造・材料等に関する事項	<p>●以下の歴史的意匠等を保全する。</p> <p>*名称 : 高中部本部棟</p> <p>*構造 : 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階</p> <p>*屋根 : 陸屋根、一部スパニッシュ瓦葺き(上丸、下丸の組合せ) 勾配屋根</p> <p>*パラペット : スパニッシュ瓦葺きの勾配屋根形状</p> <p>*外壁等 : スタック引き抜き仕上げの上塗装</p> <p>*開口部(窓等) : アーチ窓又は縦長窓(金属および木製, こげ茶色) (窓のプロポーションとその連なりによって独特のリズム感を生み出している)</p> <p>*その他装飾 : 立面図のとおり</p>
(3) 敷地の利用、木竹等に関する事項	<p>●配置に関する事項</p> <p>回廊型に建設された本建築物を取り巻く他の校舎のクラスター状の全体配置を継承するように努める。</p> <p>●木竹等に関する事項</p> <p>敷地内の植栽の保全に努める。</p>

西宮市都市 景観形成建 築物等指定	関西学院大学：大学正門
所在地	西宮市上ヶ原一番町二番地 10 他
敷地・指定 建築物等の 概要	<p>●敷地の概要</p> <p>*規 模 : 約 134,392.21 m² (北敷地)</p> <p>*配 置 : 学院キャンパスのエントランス部分にシンメトリーに配置され、学園花通りから時計台、さらに甲山へと続く軸線上に連続的に展開する眺望景観を特色づけている。</p> <p>●指定工作物の概要</p> <p>*築 造 年 : 昭和 5 年(1930 年)</p> <p>*名 称 : 大学正門</p> <p>*構 造 : 【門柱】鉄筋コンクリート造 高さ 2.55m 【袖壁】鉄筋コンクリート造 高さ 1.9m</p> <p>*外 装 : 【門柱】石貼り 【袖壁】薄塗壁装材</p> <p>*門 扉 : 金属製 (こげ茶色)</p>
指定理由	<p>学院キャンパスの開設された翌年(昭和 5 年、1930 年)に築造された本正門は、中央広場を囲む建築群と同じく W.M. ヴォーリズ的设计によるものである。</p> <p>甲山への軸線上にある時計台に正対する位置にあり、その門構えと意匠は、中央広場へと続くエントランス空間を演出するとともに、スパニッシュ・ミッションスタイルの建築群や背後の植栽と一体となり甲山への眺望景観を印象付けている。また、本門の道路側に配置されている植栽は、背後の植栽との連続性を生み出すとともに、周辺に柔らかな景観的表情を創出している。</p> <p>以上、学院キャンパスの正門として地域景観のシンボルとなるとともに、特色ある眺望景観を構成する役割を果たしている本工作物は、都市景観上重要なものと認められ、都市景観形成工作物に指定する。</p>

大学正門



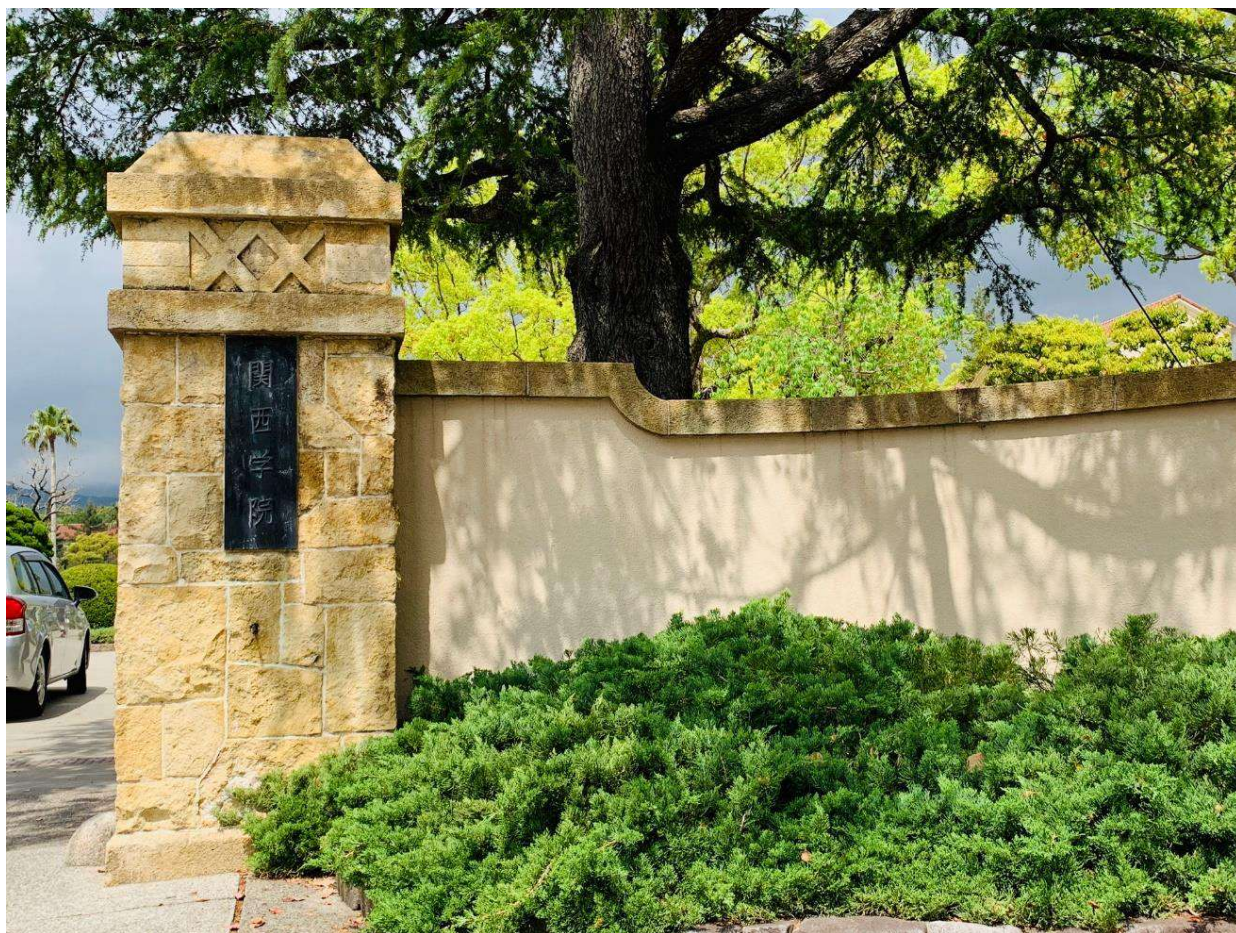
付近見取り図



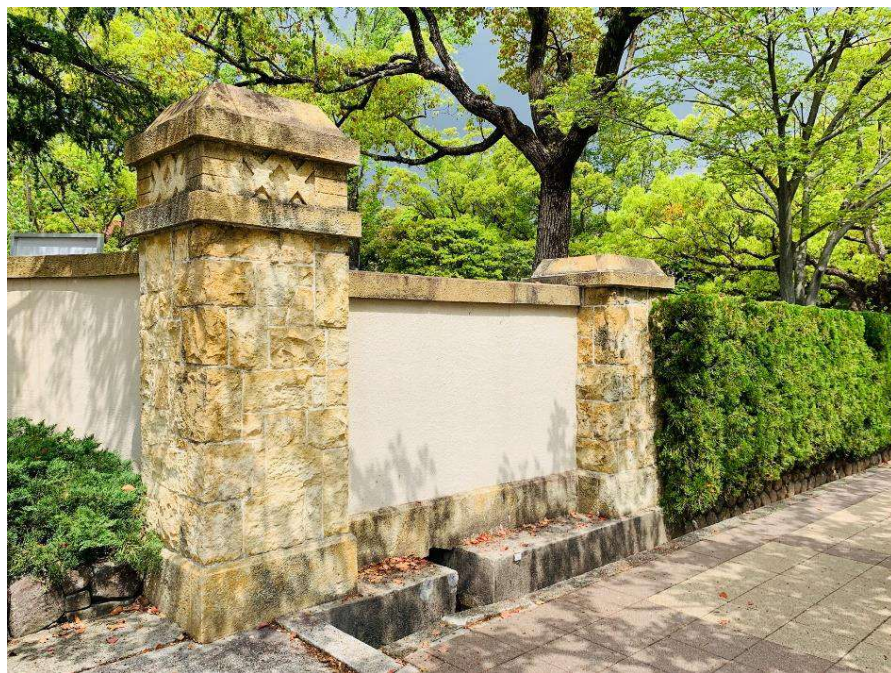
正面写真



背面写真



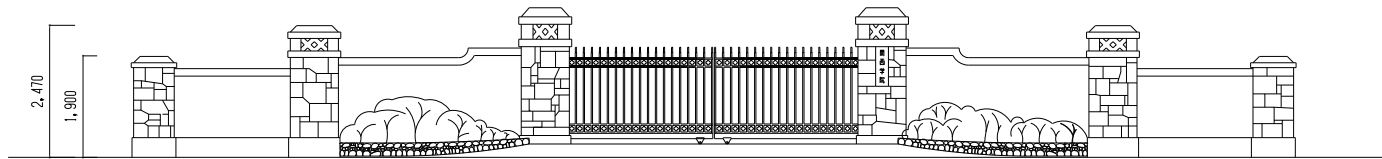
門柱、袖壁及び前面植栽



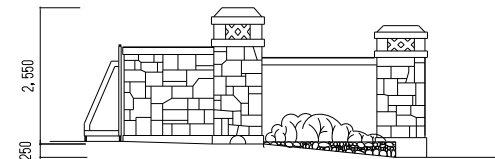
門柱及び袖壁



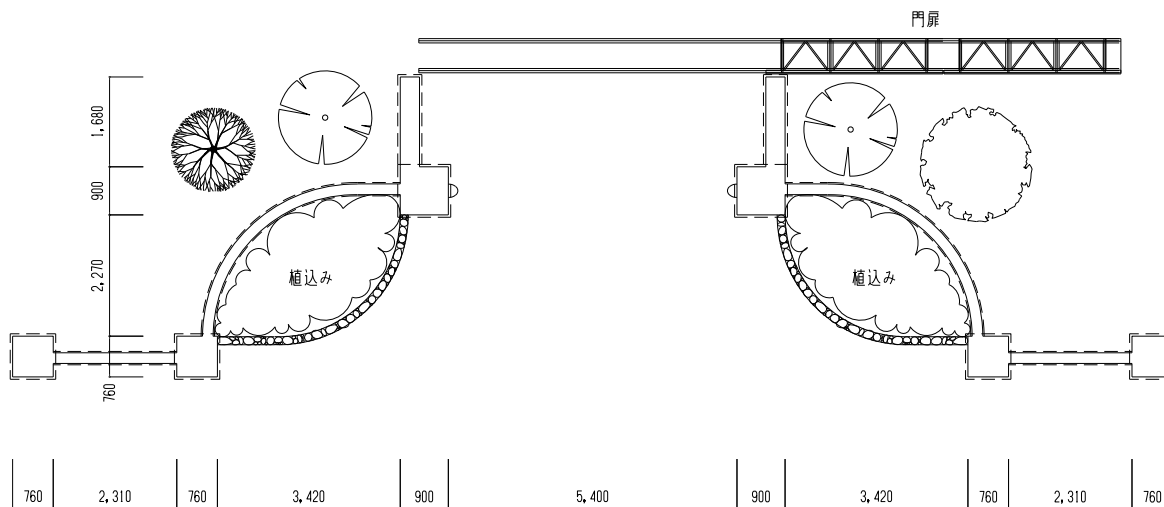
門柱 石貼り



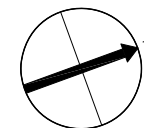
東立面図



北立面図

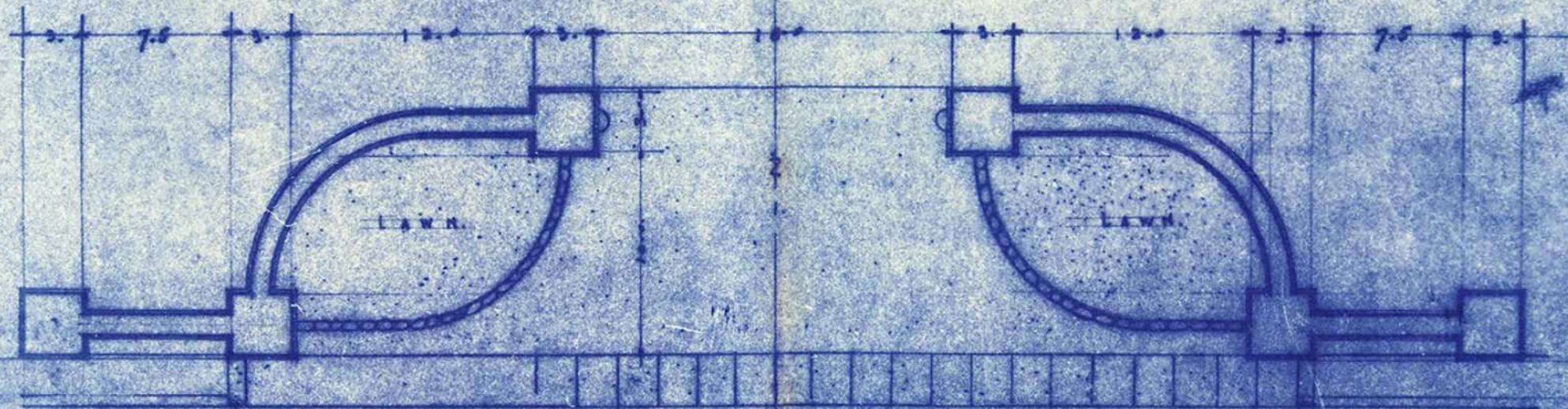
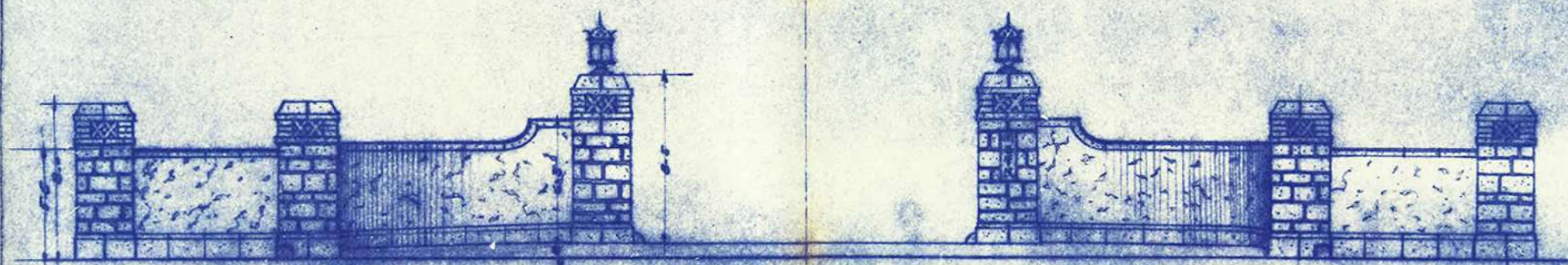


平面図



発注	/00.00.00	完成図	発注	/	承認	/
設計	/00.00.00	作成	設計	/	承認	/
作成	/00.00.00	作成	設計	/	承認	/

特記	竣工年月	1929年 3月
	設計者	一般社団法人 日本建築事務所
	施工者	株式会社 竹中工務店
	図面番号	2006年 門扉設計



MITT. GATE FOR KWANLI GARDEN.

西宮市都市景観形成建築物等保全計画	関西学院大学：大学正門
(1) 保全方針	<p>●時計台に正対して甲山への軸線にシンメトリーに配置された鉄筋コンクリート造の門柱、袖壁などの門構えと意匠、並びに中央広場へと続くエントランス空間を演出し背後の植栽と一体となり甲山への眺望景観を印象付ける外観的特色を保全する。</p>
(2) 指定建築物等の外観の意匠・構造・材料等に関する事項	<p>●以下の歴史的意匠等を保全する。</p> <ul style="list-style-type: none"> *名 称 : 大学正門 *構 造 : 【門柱】鉄筋コンクリート造 高さ 2.55m 【袖壁】鉄筋コンクリート造 高さ 1.9m *外 装 : 【門柱】石貼り 【袖壁】薄塗壁装材 *門 扉 : 金属製（こげ茶色）
(3) 敷地の利用、木竹等に関する事項	<p>●木竹等に関する事項 正門前後の植栽の保全に努める。</p>

西宮市都市 景観形成建 築物等指定	関西学院大学：旧大学本館門柱
所在地	西宮市上ヶ原一番町二番地 25 他
敷地・指定 建築物等の 概要	<p>●敷地の概要</p> <p>*規 模 : 約 134,392.21 m² (北敷地)</p> <p>*配 置 : 旧学院時代の本館門柱を現在地に移築した工作物で、現 キャンパス外周部に連続する錆系花崗岩の玉石積みや生 垣などの緑による敷際と一体となって、サブエントラン スを構成している。</p> <p>●指定工作物の概要</p> <p>*築 造 年 : 昭和 4 年(1929 年)</p> <p>*名 称 : 旧大学本館門柱</p> <p>*構 造 : 鉄筋コンクリート造 高さ 3.25m</p> <p>*外 装 : 石貼り</p> <p>*その他装飾 : 柱頭飾り</p>
指定理由	<p>旧大学本館門柱は、大正 3 年(1914 年)に神戸原田の森キャンパスに設置され ていたものを、昭和 4 年(1929 年)の本キャンパス開設時に移築したもので、学 院キャンパスにおいて最古の工作物である。その後、昭和 28 年(1953 年)建設の 旧大学本館を経て、現在では平成 16 年(2004 年)建設の大学院 1 号館のエントラ ンスの門柱として利用されている。</p> <p>過去の記憶をこの地で継承しつつ、キャンパス外周部に連続する錆系花崗岩 の玉石積みや生垣などの緑とともに、ゆとりと潤いのある敷際とエントランス 空間を演出している。</p> <p>旧大学本館門柱は、歴史的記憶を継承するとともに、特色ある地域景観の形成 に寄与していることから、都市景観形成工作物に指定する。</p>

旧大学本館門柱



付近見取り図



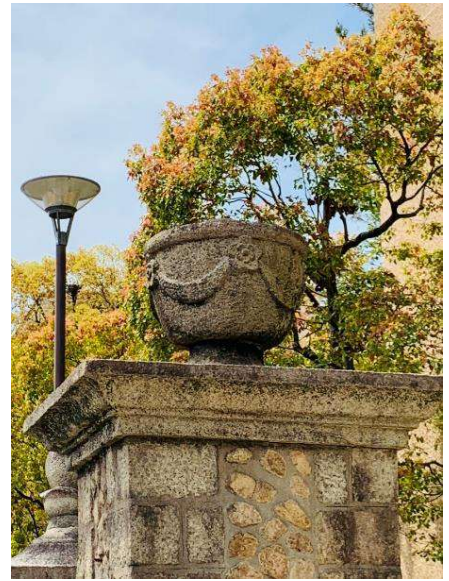
正面写真



背面写真



近景写真



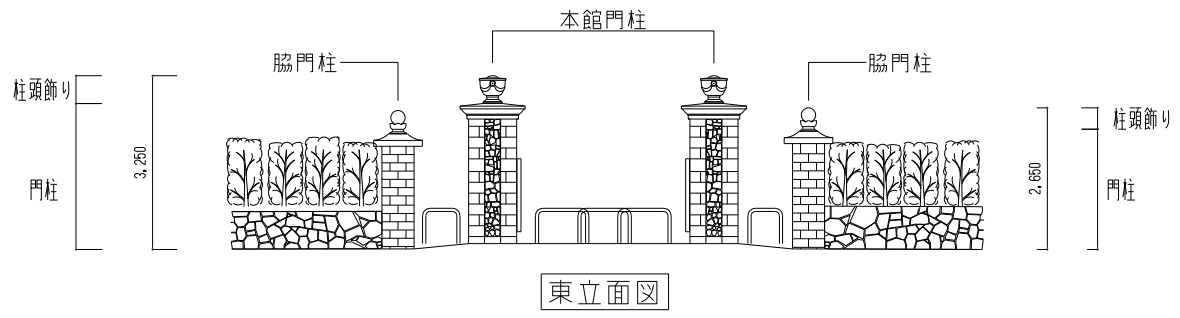
装飾(柱頭飾り)



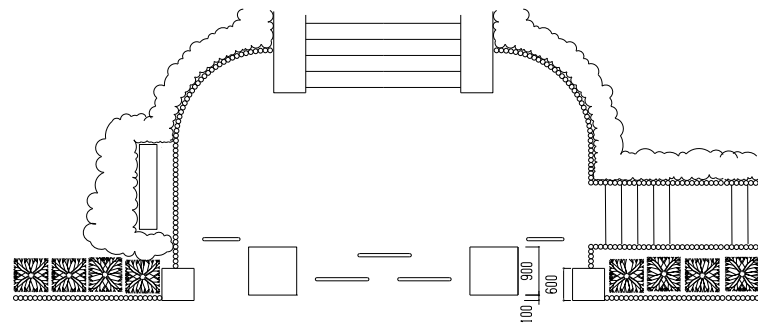
旧大学本館門柱 石貼り



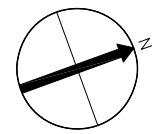
脇門柱 石貼り



東立面図



平面図



西宮市都市景観形成建築物保全計画	関西学院大学：旧大学本館門柱
(1) 保全方針	●キャンパス外周部に連続する錆系花崗岩の玉石積みや生垣などの緑とともに、ゆとりと潤いのある敷際とエントランス空間を演出する現在の門構えを維持しつつ、門柱としての外観的かつ景観的特色を保全する。
(2) 指定建築物の外観の意匠・構造・材料等に関する事項	●以下の歴史的意匠等を保全する。 <ul style="list-style-type: none"> *名 称 : 旧大学本館門柱 *構 造 : 鉄筋コンクリート造 高さ 3.25m *外 装 : 石貼り *その他装飾 : 柱頭飾り
(3) 敷地の利用、木竹等に関する事項	●木竹等に関する事項 敷地外構部の脇門柱及び玉石積みを保全する。 敷地外構部の植栽の保全に努める。